

令和4年度

県民ニーズ調査
報告書

令和4年9月

福岡県

◇◇ 目 次 ◇◇

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査の企画と実施機関	2
II. 対象者属性	3
III. 調査結果	6
1. 新型コロナウイルス感染症の影響について	6
(1) 暮らしの変化	6
① 本人または家族への影響	6
② 悩みやストレスの相談先	7
③ 余暇、趣味など日々の暮らしへの影響	8
(2) 仕事の変化	9
① 仕事への影響	9
② 働き方への影響	10
2. 県の施策について	11
☆ 県政の各分野において、行政に対して力を入れてほしいこと ☆	11
(1) 新型コロナウイルス感染症対策	11
(2) 県の広報	12
(3) 次代を担う「人財」の育成	13
(4) 「世界から選ばれる福岡県」の実現	14
(5) ワンヘルスの推進	15
(6) 商工業	16
(7) 農林水産業	17
(8) 観光	18
(9) 雇用、働き方	19
(10) デジタル化	20
(11) 保健・医療	21
(12) スポーツ	22
(13) 文化	23
(14) 高齢者	24
(15) 障がいのある人	25
(16) 人権	26
(17) 国際交流	27
(18) 防犯・交通安全	28
(19) 地域振興	29
(20) 移住・定住、企業誘致	30
① 移住・定住	30
② 企業誘致	31
(21) グリーン社会	32
(22) 教育	33
(23) 子育て支援	34
(24) 防災	35
(25) 重点分野	36
3. 自由意見	37

IV. 資料編 ----- 46

< 調査票 > ----- 46

I. 調査概要

1. 調査目的

県が進める施策に対する県民ニーズや新型コロナウイルス感染症の影響による暮らしや仕事の変化を把握し、今後の県政運営へ反映させることを目的とする。

2. 調査設計

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査地域 | 福岡県全域 |
| (2) 調査対象者 | 県内に居住する 18 歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 4,000 サンプル |
| (4) 標本抽出方法 | 層化二段無作為抽出
県内各市区町村の人口数を基に調査地点数を決定し、400 地点を無作為抽出。ただし、単純に比例配分すると集計・分析に耐えうる十分な資料が得られない地点が出るため、北九州、福岡、筑豊、筑後の 4 地域に分け、各地域 100 地点になるよう、均等に割り当てを行った。その後、調査地点ごとに「選挙人名簿」から 1 地点 10 名、合計 4,000 名を抽出した。 |
| (5) 標本抽出台帳 | 令和 4 年 5 月現在の選挙人名簿 |
| (6) 調査方法 | 郵送法・インターネット回答 |
| (7) 調査期間 | 令和 4 年 6 月 30 日～令和 4 年 7 月 22 日 |
| (8) 回収数（率） | 1,811 サンプル（45.3%） |
| (9) 集計方法 | 地点数を 4 地域で均等配分したため、以下の方法でウェイト値を算出し、加重集計を行う。
①各地域の調査対象年齢の人口を算出。
②各地域の人口を最も人口の少ない地域の人口で除し、人口比の係数を求める。
③各地域の有効回収数を人口の最も少ない地域の有効回収数で除し、サンプル数の係数を求める。
④人口比の係数をサンプル数の係数で除し、ウェイト値を求める。 |

(10) 地域区分 調査地域は下記のとおり、4地域に区分している。

地域	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
政令指定都市	北九州市	福岡市		
市	行橋市 豊前市 中間市	筑紫野市 春日市 大野城市 宗像市 太宰府市 古賀市 福岡市 朝倉市 糸島市 那珂川市	直方市 飯塚市 田川市 宮若市 嘉麻市	大牟田市 久留米市 柳川市 八女市 筑後市 大川市 小郡市 うきは市 みやま市
町村	芦屋町 水巻町 岡垣町 遠賀町 苅田町 みやこ町 吉富町 上毛町 築上町	宇美町 篠栗町 志免町 須恵町 新宮町 久山町 粕屋町 筑前町 東峰村	小竹町 鞍手町 桂川町 香春町 添田町 糸田町 川崎町 大任町 赤福智町	大刀洗町 大木町 広川町

3. 調査の企画と実施機関

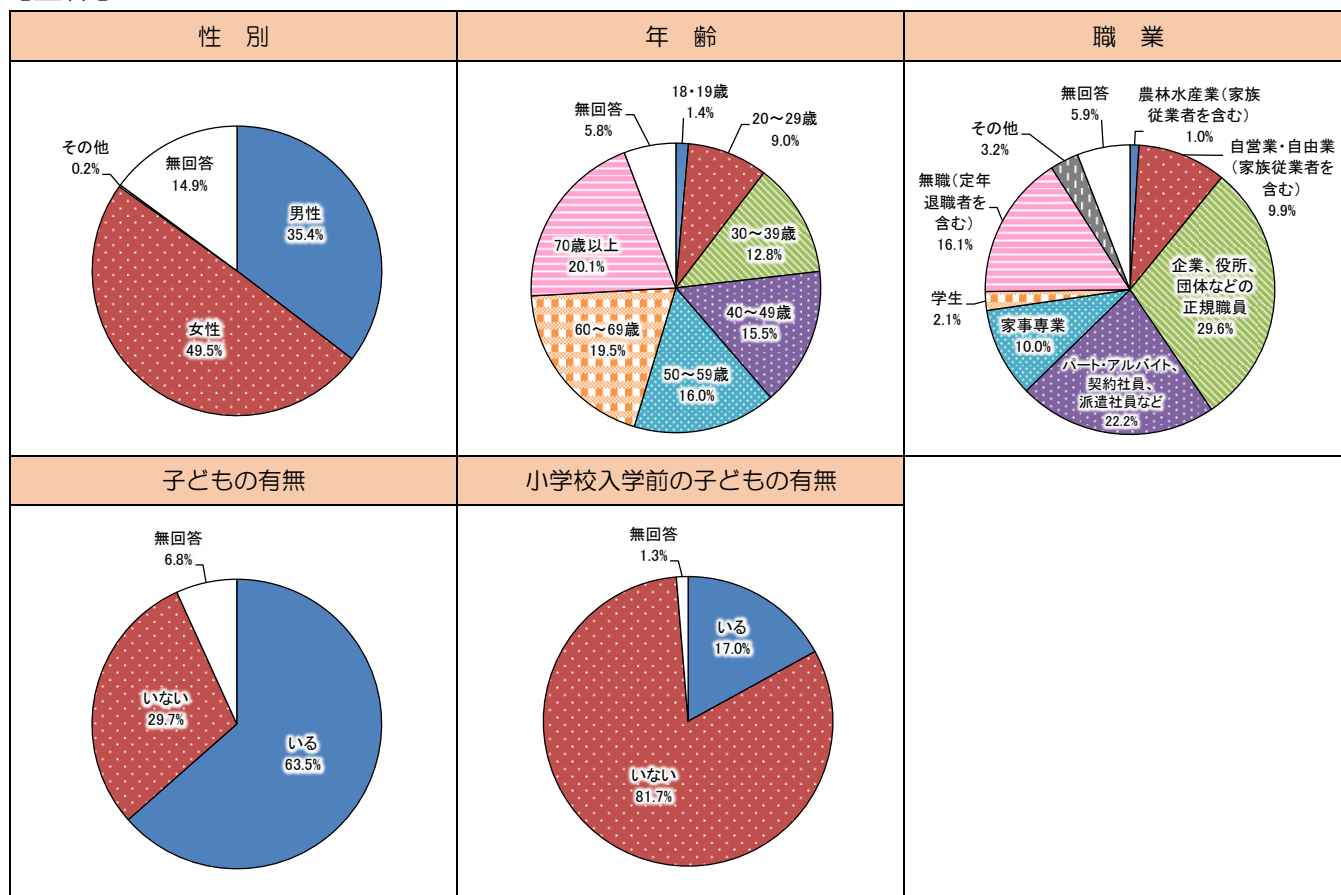
企 画 福岡県 企画・地域振興部 総合政策課
調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所

【 調査結果利用上の注意 】

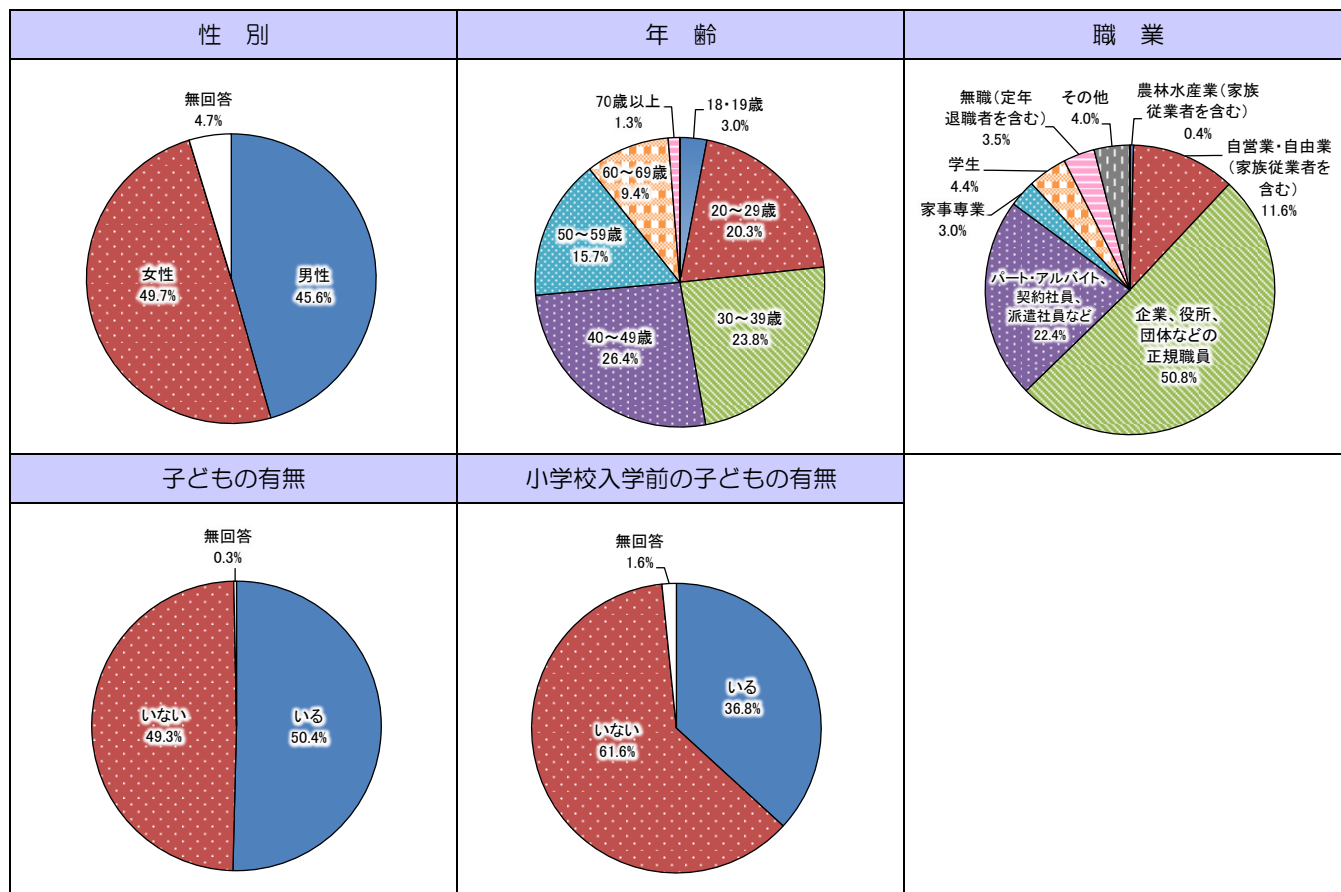
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表に示す選択肢は、スペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。

II. 対象者属性

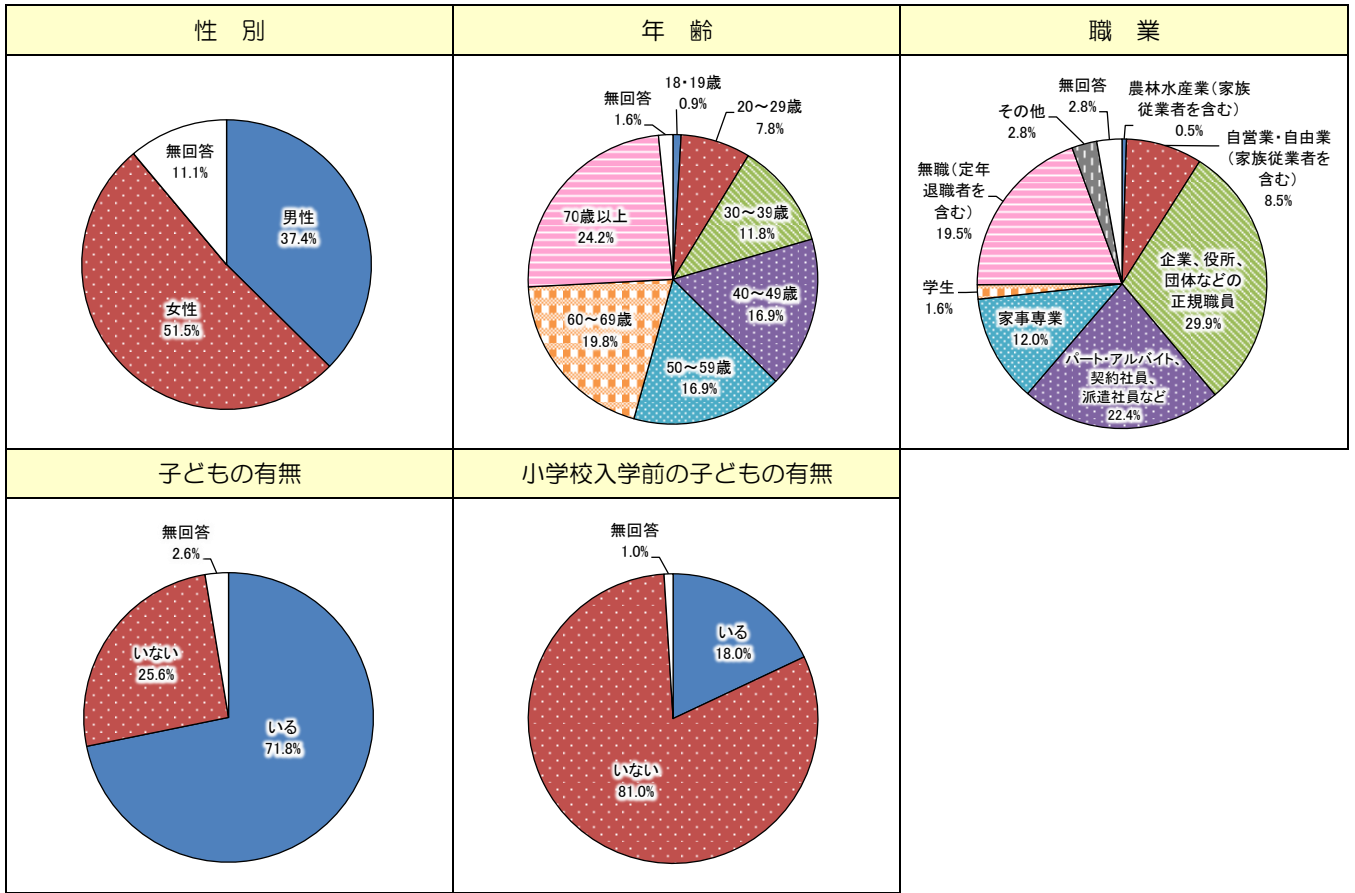
【全体】



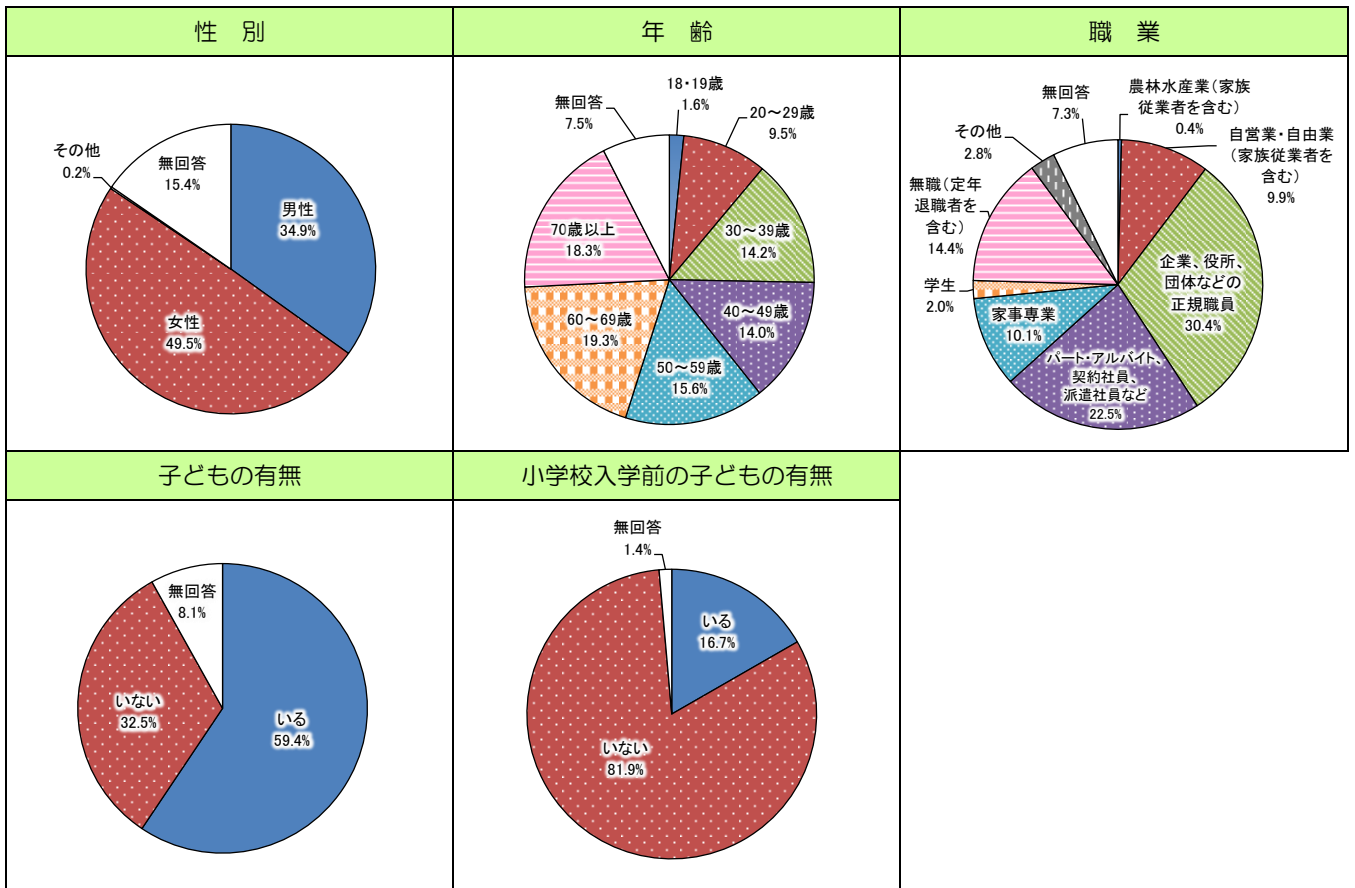
【ネット回答者】



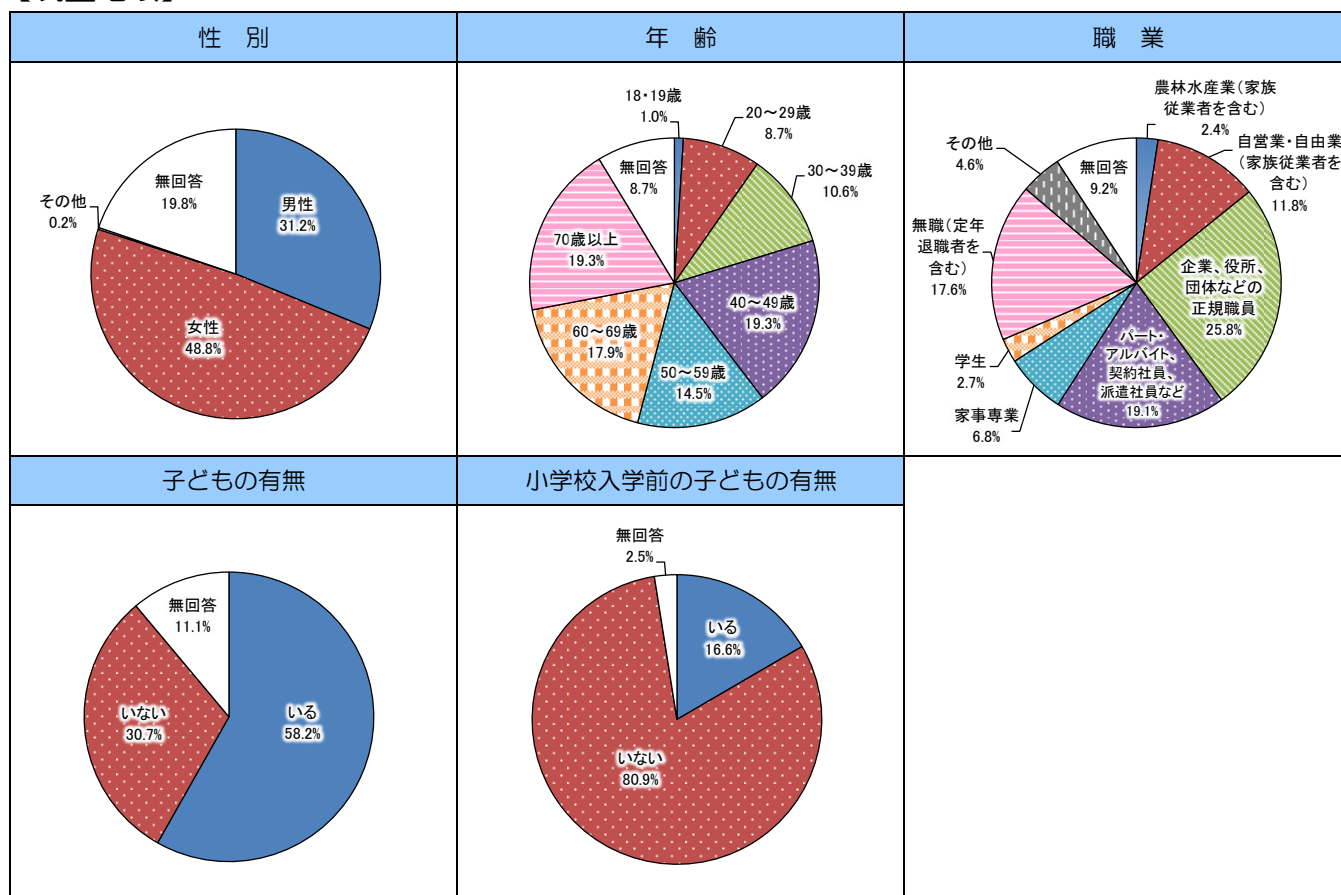
【北九州地域】



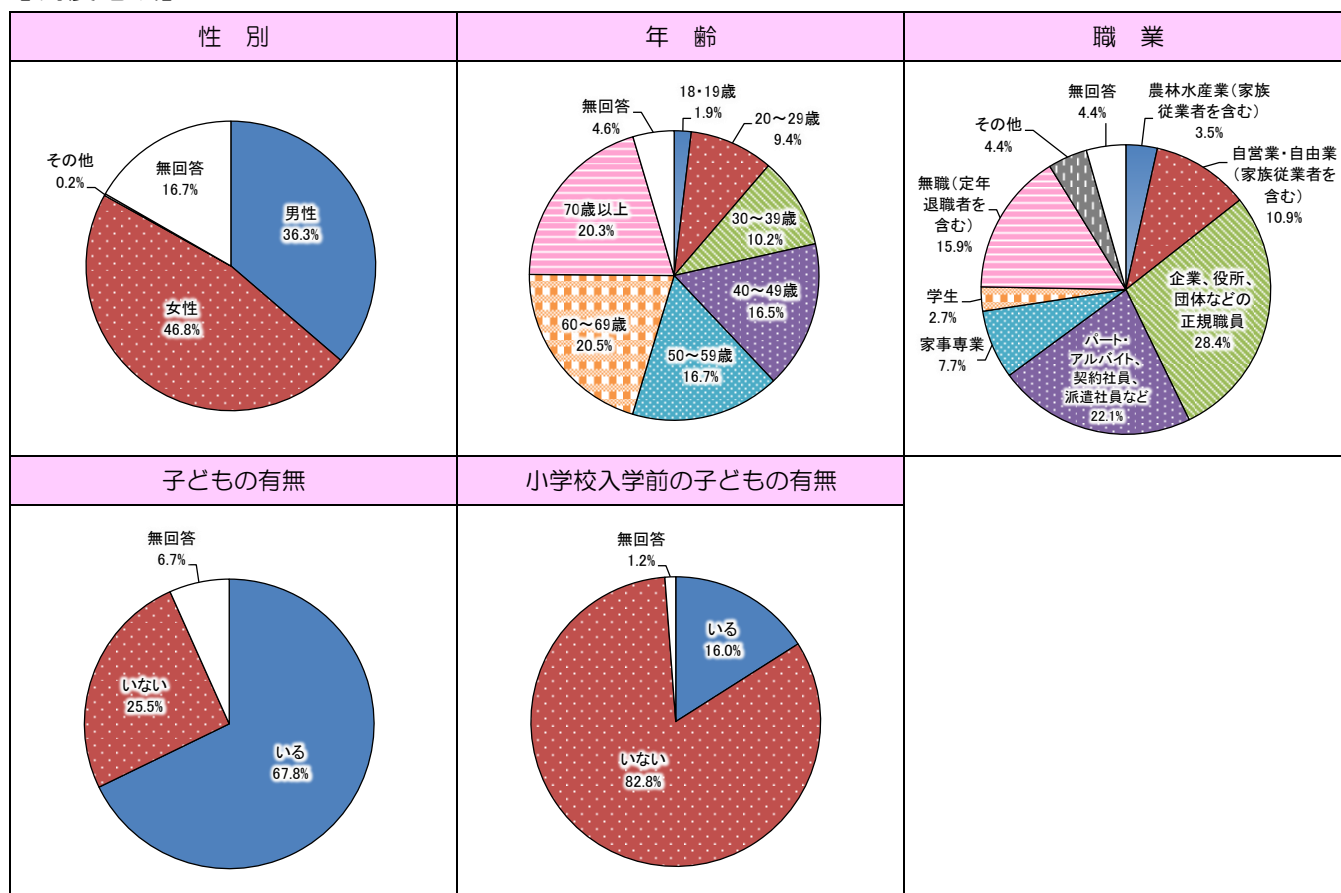
【福岡地域】



【筑豊地域】



【筑後地域】



Ⅲ. 調査結果

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

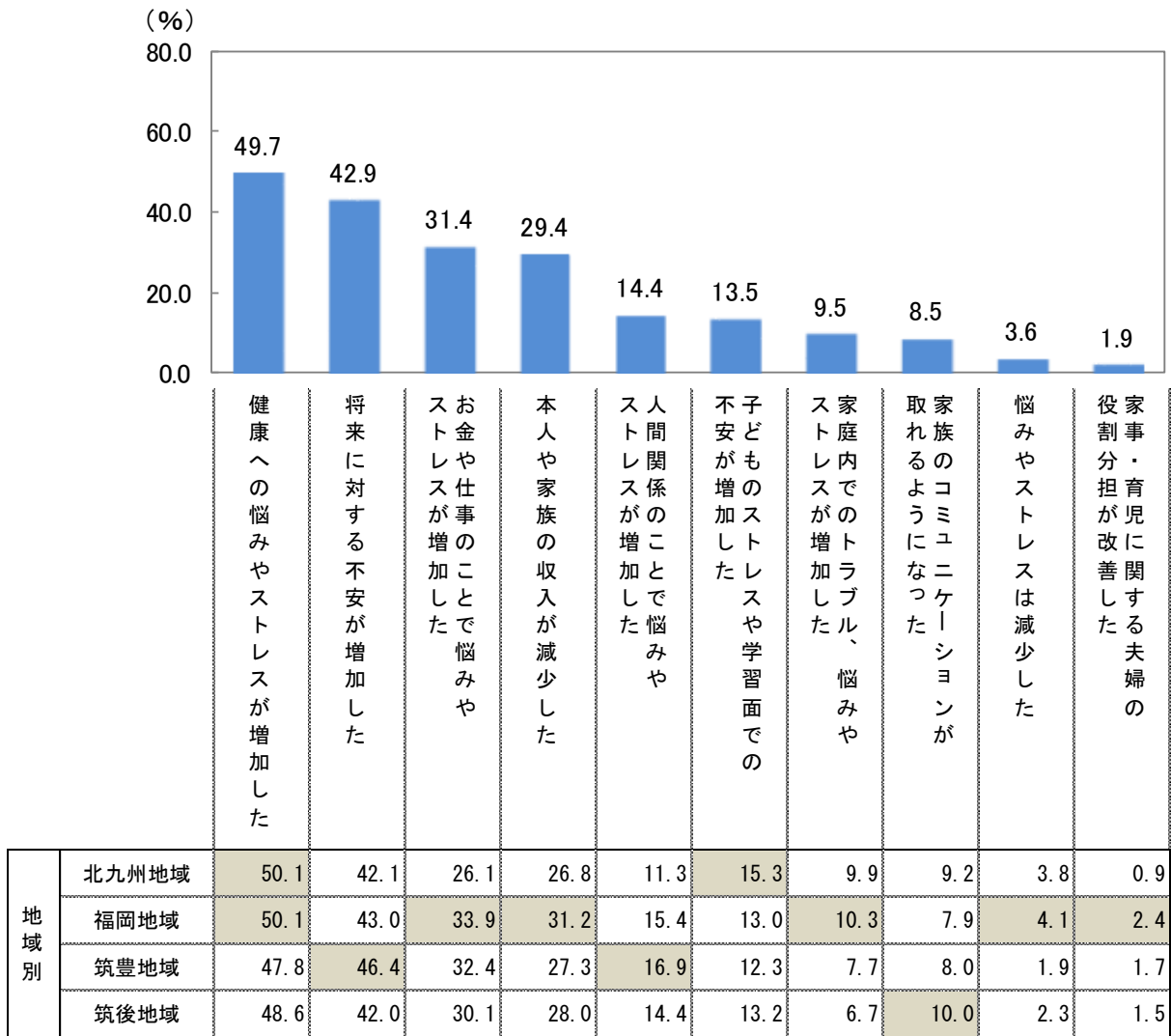
(1) 暮らしの変化

① 本人または家族への影響

県全体では、「健康への悩みやストレスが増加した」(49.7%)が最も多く、次いで、「将来に対する不安が増加した」(42.9%)、「お金や仕事のことで悩みやストレスが増加した」(31.4%)、「本人や家族の収入が減少した」(29.4%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「健康への悩みやストレスが増加した」が最も高くなっています。

本人または家族への影響

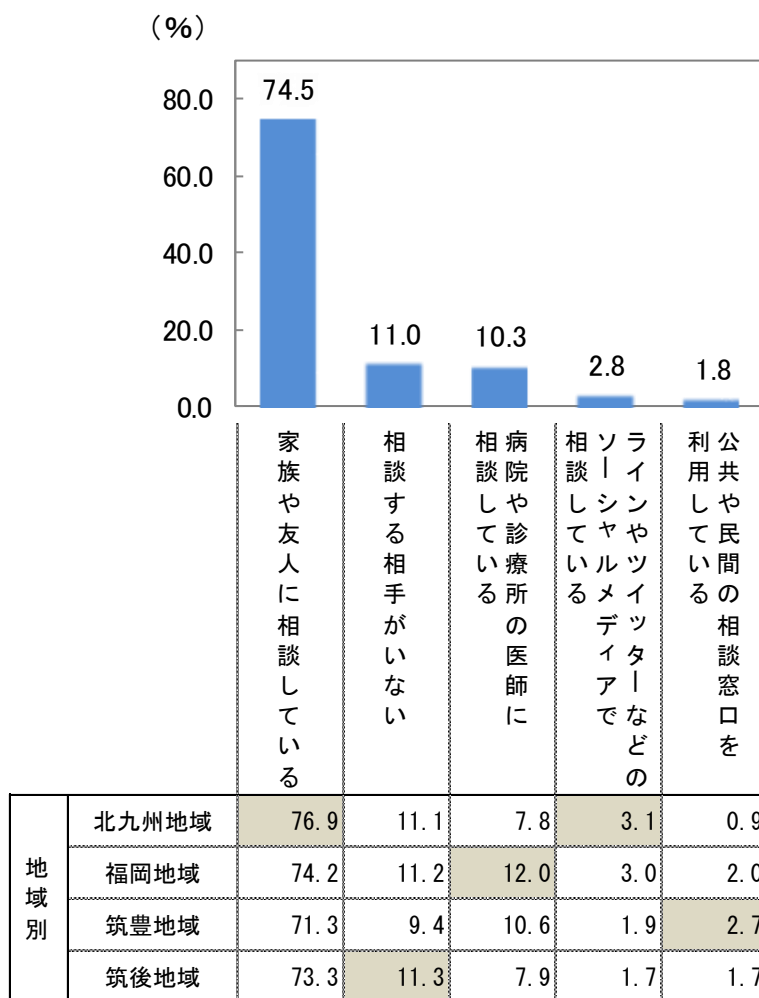


は4地域中で最も高い値の地域

② 悩みやストレスの相談先

県全体では、「家族や友人に相談している」(74.5%)が最も高く、次いで、「相談する相手がない」(11.0%)、「病院や診療所の医師に相談している」(10.3%)の順となっています。
地域別にみると、どの地域でも「家族や友人に相談している」が最も高くなっています。

悩みやストレスの相談先

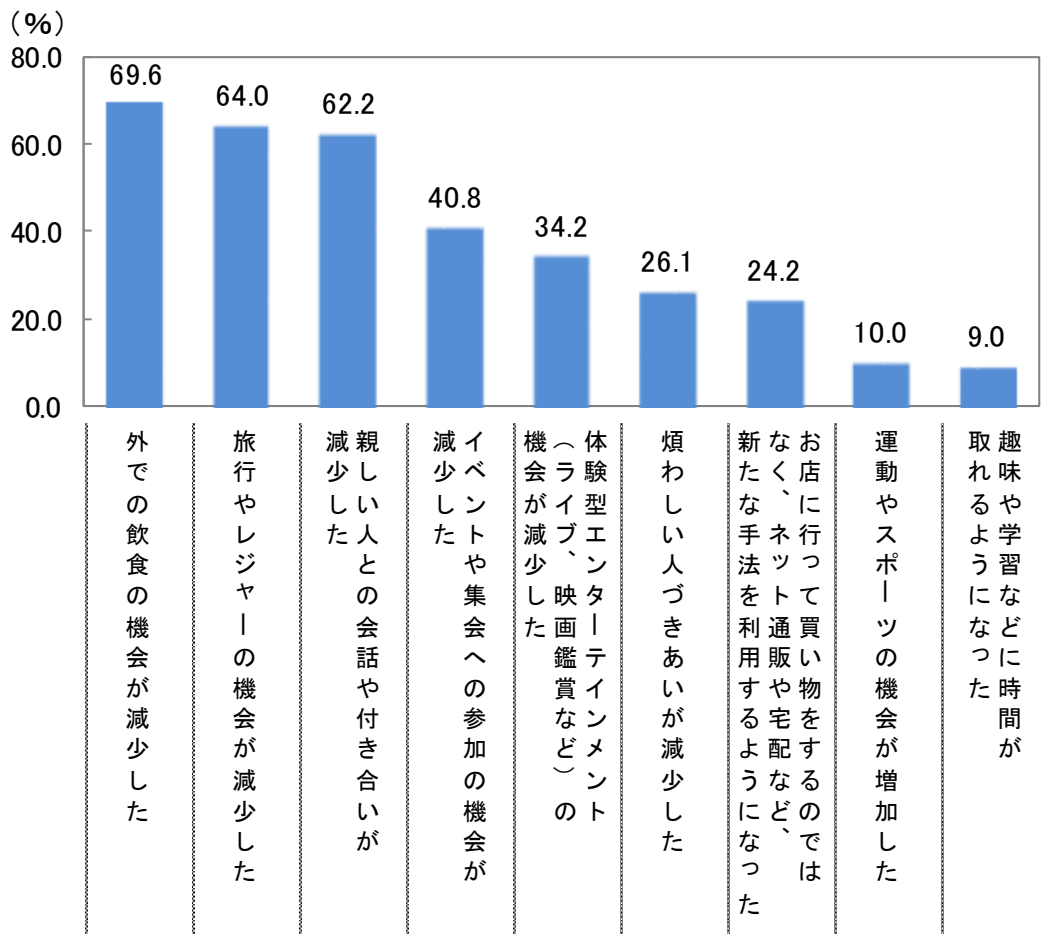


■は4地域中で最も高い値の地域

③ 余暇、趣味など日々の暮らしへの影響

県全体では、「外での飲食の機会が減少した」(69.6%)が最も高く、次いで、「旅行やレジャーの機会が減少した」(64.0%)、「親しい人との会話や付き合いが減少した」(62.2%)の順となっています。

余暇、趣味など日々の暮らしへの影響



地域別	割合 (%)									
	外での飲食の機会が減少した	旅行やレジャーの機会が減少した	親しい人との会話や付き合いが減少した	イベントや集会への参加の機会が減少した	体験型エンターテインメントの機会が減少した	煩わしい人づきあいが減少した	お店に行つて買い物をするのではなく、ネット通販や宅配など、新たな手法を利用するようになった	運動やスポーツの機会が増加した	趣味や学習などに時間が取れるようになった	
北九州地域	69.6	64.2	60.7	39.1	33.4	27.1	22.4	10.1	10.6	
福岡地域	70.6	63.3	63.5	40.8	34.9	25.8	25.8	10.8	9.1	
筑豊地域	68.1	63.0	59.4	36.2	32.4	27.1	20.5	5.8	7.5	
筑後地域	66.4	67.0	61.2	46.1	33.6	25.3	23.2	9.4	7.1	

■ は4地域中で最も高い値の地域

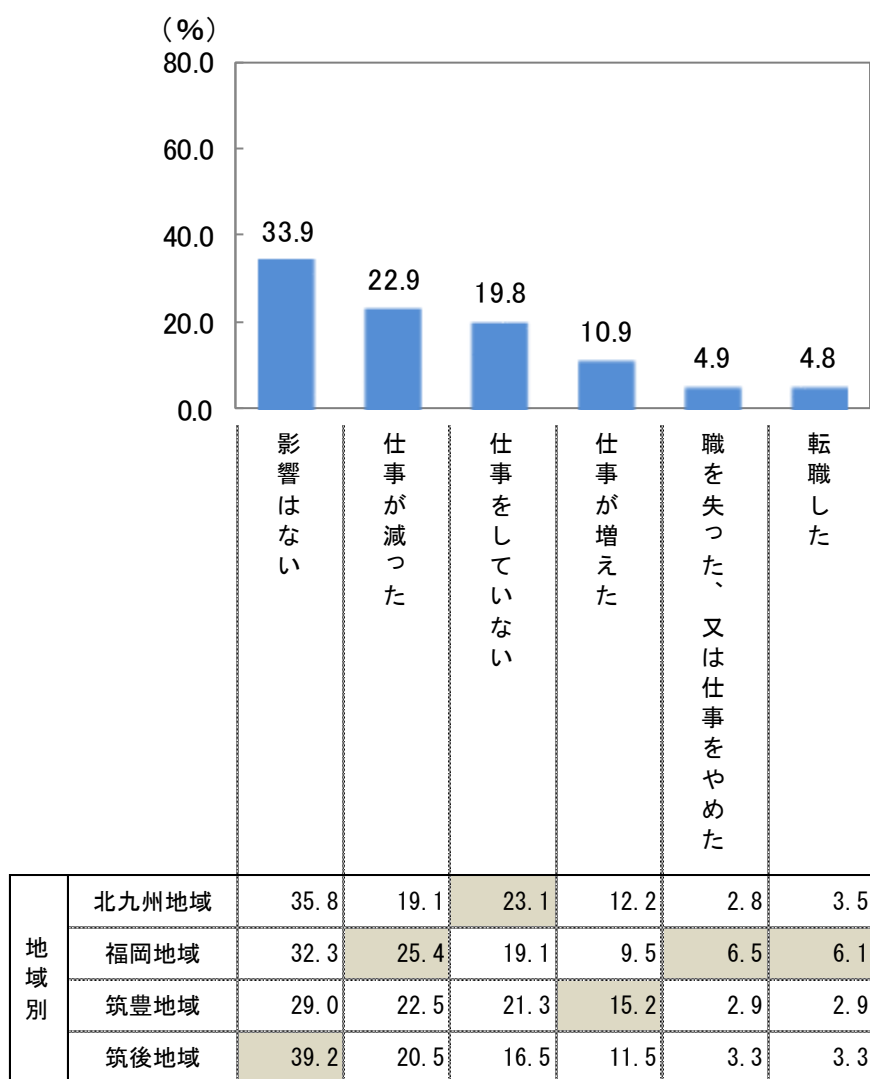
(2) 仕事の変化

① 仕事への影響

県全体では、「影響はない」(33.9%)が最も高く、次いで、「仕事が減った」(22.9%)、「仕事をしていない」(19.8%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「影響はない」が最も高いものの、「仕事が減った」が2割前後となっています。

仕事への影響



■ は4地域中で最も高い値の地域

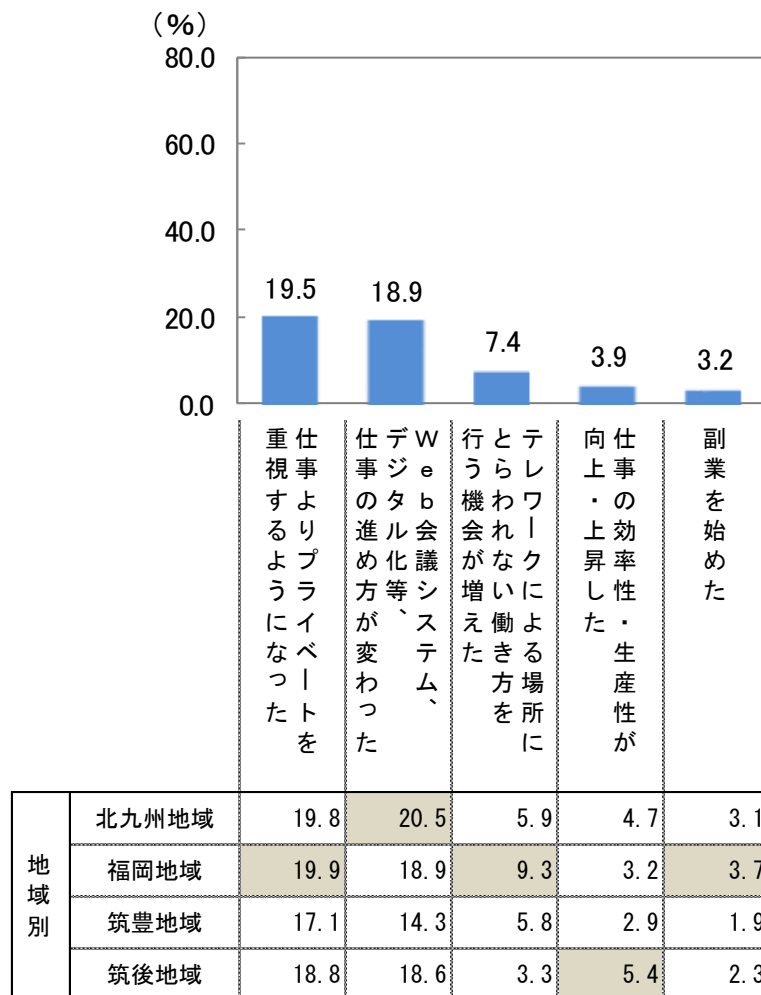
② 働き方への影響

県全体では、「仕事よりプライベートを重視するようになった」(19.5%)が最も高く、次いで、「Web 会議システム、デジタル化等、仕事の進め方が変わった」(18.9%)、「テレワークによる場所にとられない働き方を行う機会が増えた」(7.4%)の順となっています。

また、無回答が33.8%であり、働き方への影響がない方も多いと考えられます。

地域別にみると、福岡地域では「テレワークによる場所にとられない働き方を行う機会が増えた」が他地域と比較して高くなっています。

働き方への影響



■ は4地域中で最も高い値の地域

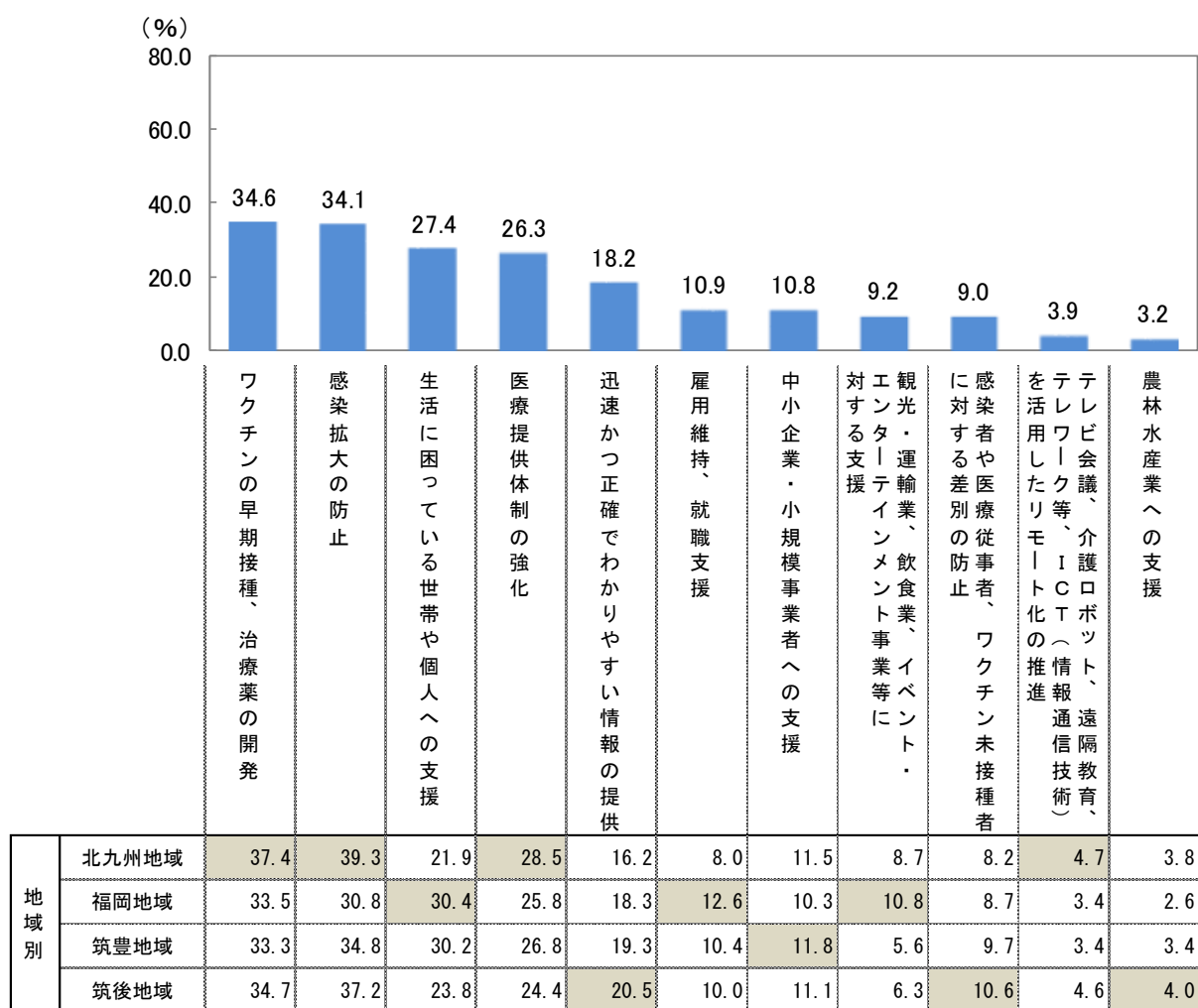
2. 県の施策について

☆ 県政の各分野において、行政に対して力を入れてほしいこと ☆

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

県全体では「ワクチンの早期接種、治療薬の開発」(34.6%)が最も高く、次いで、「感染拡大の防止」(34.1%)、「生活に困っている世帯や個人への支援」(27.4%)、の順となっています。地域別にみると、福岡地域、筑豊地域では「生活に困っている世帯や個人への支援」が他地域と比較して高くなっています。

新型コロナウイルス感染症対策

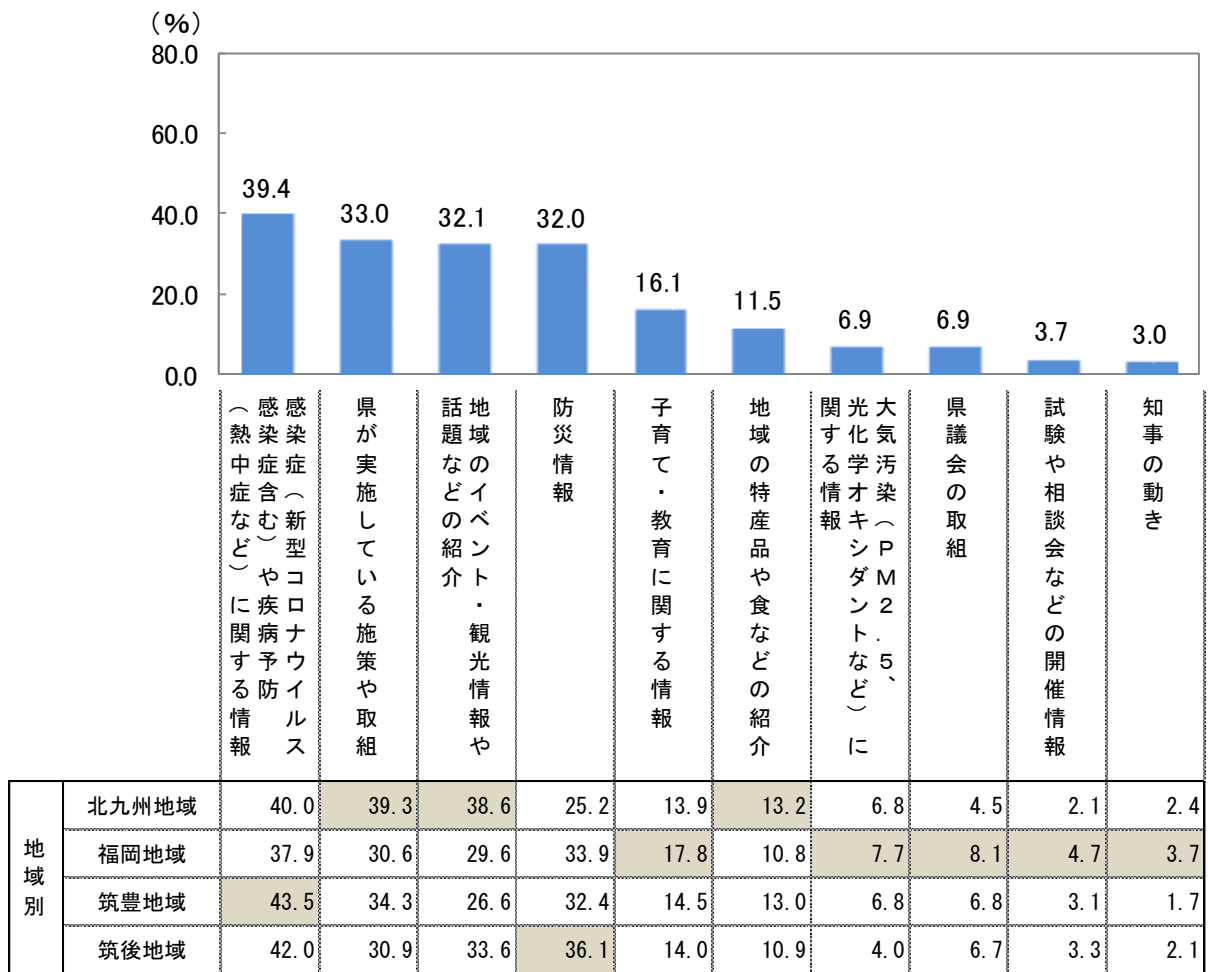


■ は4地域中で最も高い値の地域

(2) 県の広報

県から発信してほしい情報について、県全体では「感染症（新型コロナウイルス感染症含む）や疾病予防（熱中症など）に関する情報」（39.4%）が最も高く、次いで、「県が実施している施策や取組」（33.0%）、「地域のイベント・観光情報や話題などの紹介」（32.1%）、「防災情報」（32.0%）の順となっています。

県の広報



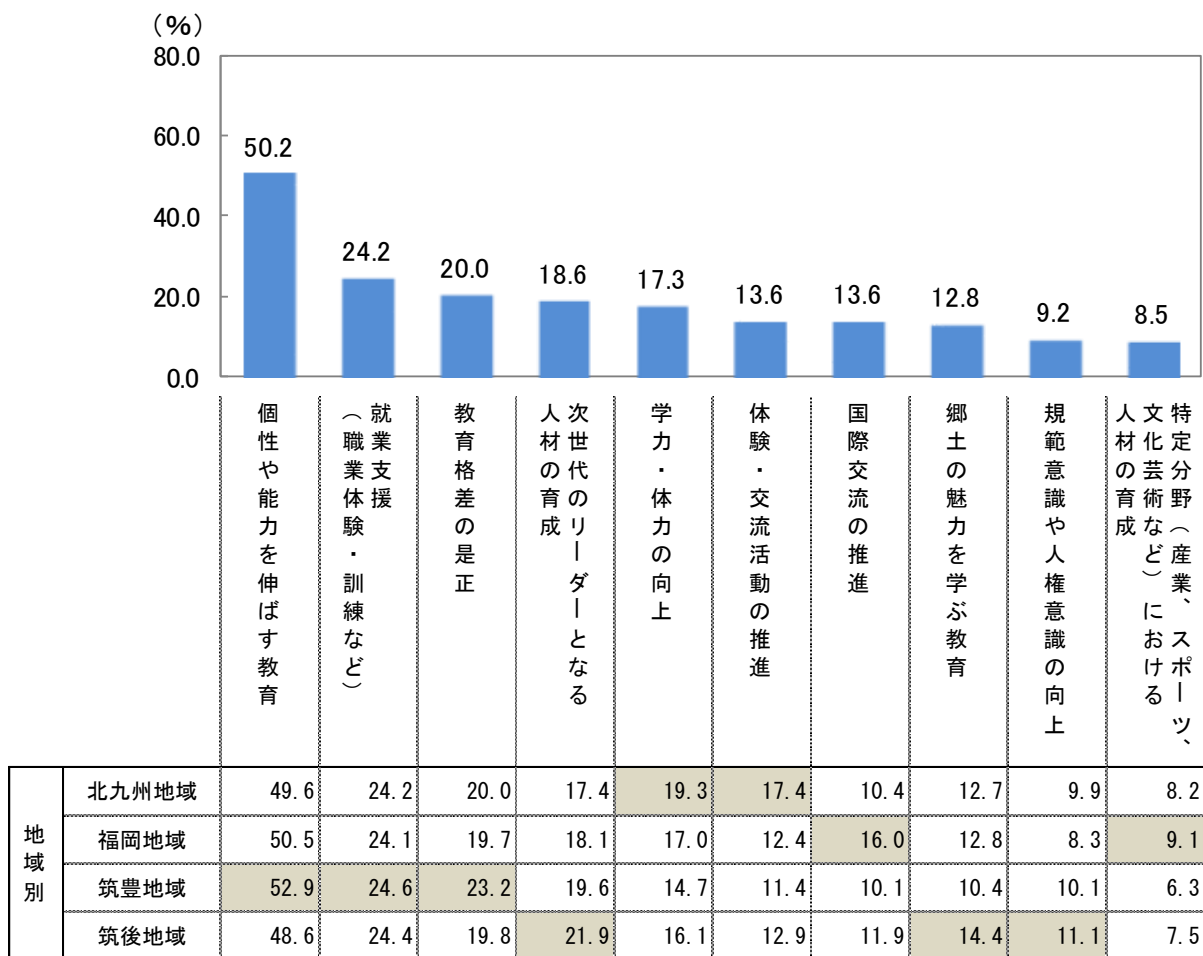
■ は4地域中で最も高い値の地域

(3) 次代を担う「人財」の育成

県全体では「個性や能力を伸ばす教育」(50.2%)が最も高く、次いで、「就業支援(職業体験・訓練など)」(24.2%)、「教育格差の是正」(20.0%)、「次世代のリーダーとなる人材の育成」(18.6%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「体験・交流活動の推進」が他地域と比較して高くなっています。

次代を担う「人財」の育成



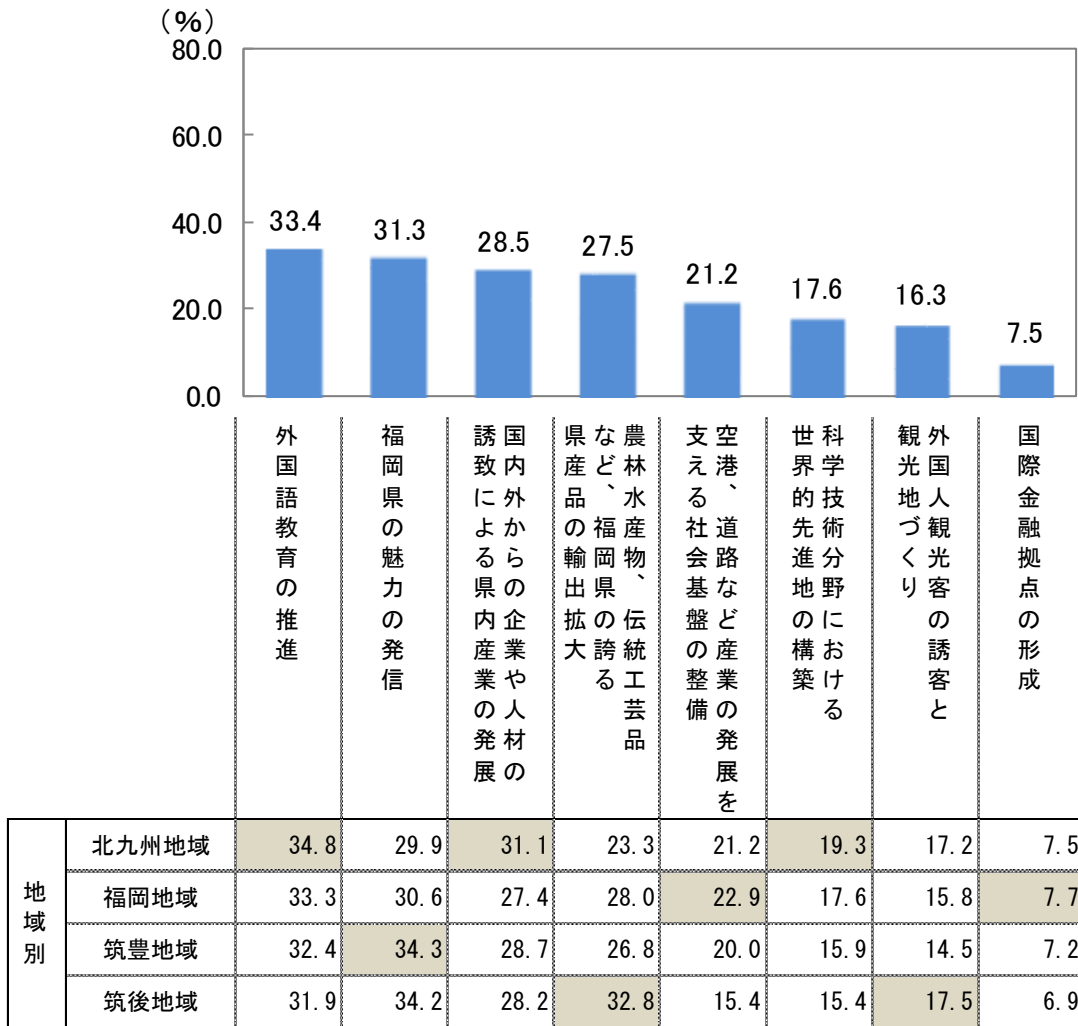
■ は4地域中で最も高い値の地域

(4) 「世界から選ばれる福岡県」の実現

県全体では「外国語教育の推進」(33.4%)が最も高く、次いで、「福岡県の魅力の発信」(31.3%)、「国内外からの企業や人材の誘致による県内産業の発展」(28.5%)、「農林水産物、伝統工芸品など、福岡県の誇る県産品の輸出拡大」(27.5%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「農林水産物、伝統工芸品など、福岡県の誇る県産品の輸出拡大」が他地域と比較して高くなっています。

「世界から選ばれる福岡県」の実現



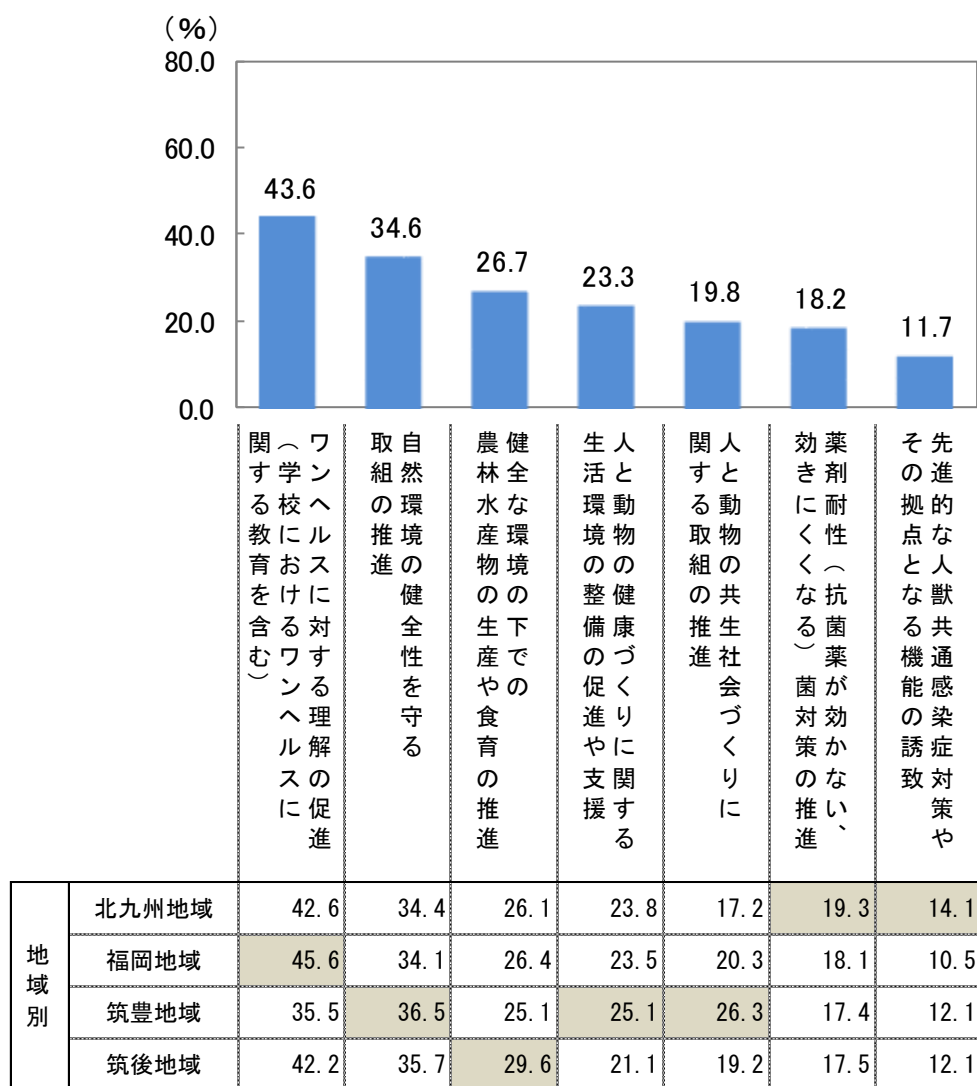
■ は4地域中で最も高い値の地域

(5) ワンヘルスの推進

県全体では「ワンヘルスに対する理解の促進（学校におけるワンヘルスに関する教育を含む）」（43.6%）が最も高く、次いで、「自然環境の健全性を守る取組の推進」（34.6%）、「健全な環境の下での農林水産物の生産や食育の推進」（26.7%）の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「人と動物の共生社会づくりに関する取組の推進」が他地域と比較して高くなっています。

ワンヘルスの推進

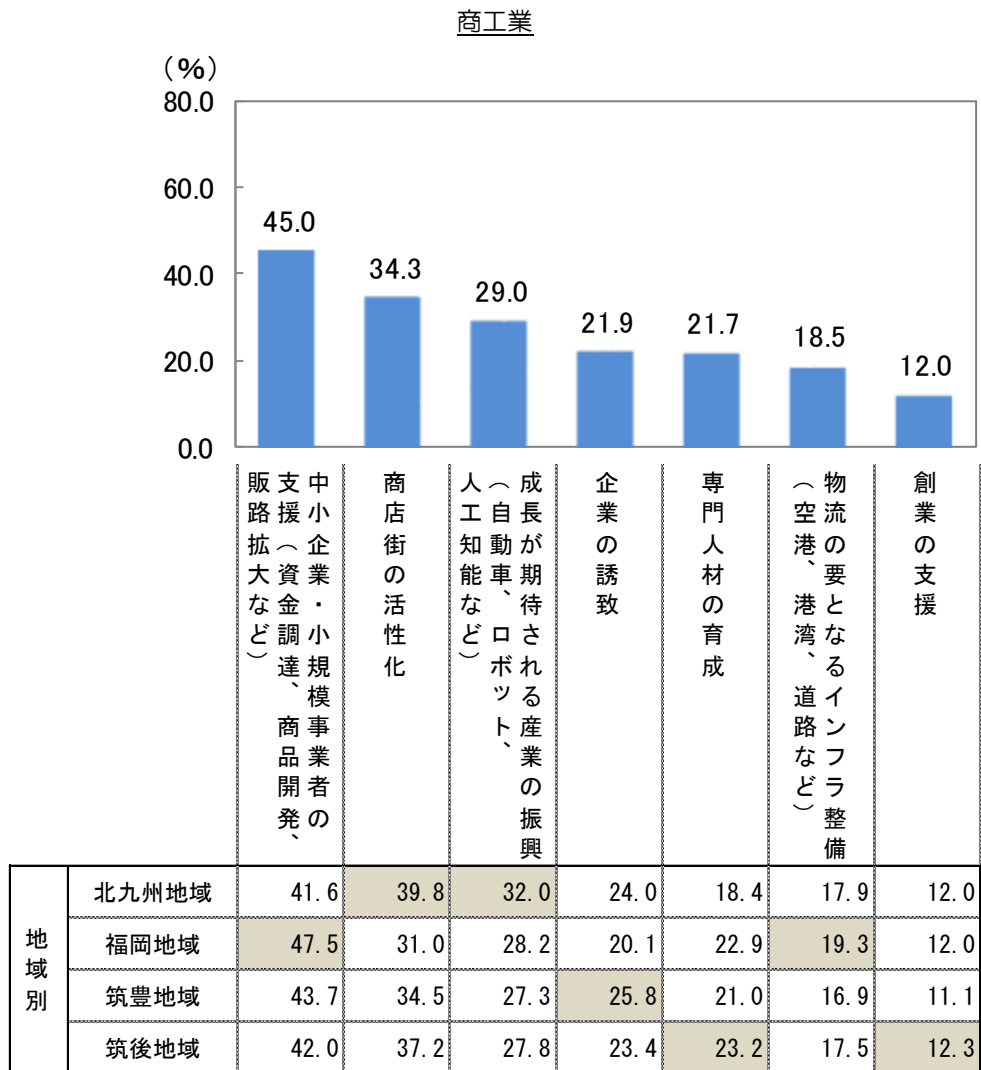


■は4地域中で最も高い値の地域

(6) 商工業

県全体では「中小企業・小規模事業者の支援（資金調達、商品開発、販路拡大など）」（45.0%）が最も高く、次いで、「商店街の活性化」（34.3%）、「成長が期待される産業の振興（自動車、ロボット、人工知能など）」（29.0%）、の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「中小企業・小規模事業者の支援（資金調達、商品開発、販路拡大など）」が他地域と比較して高くなっています。



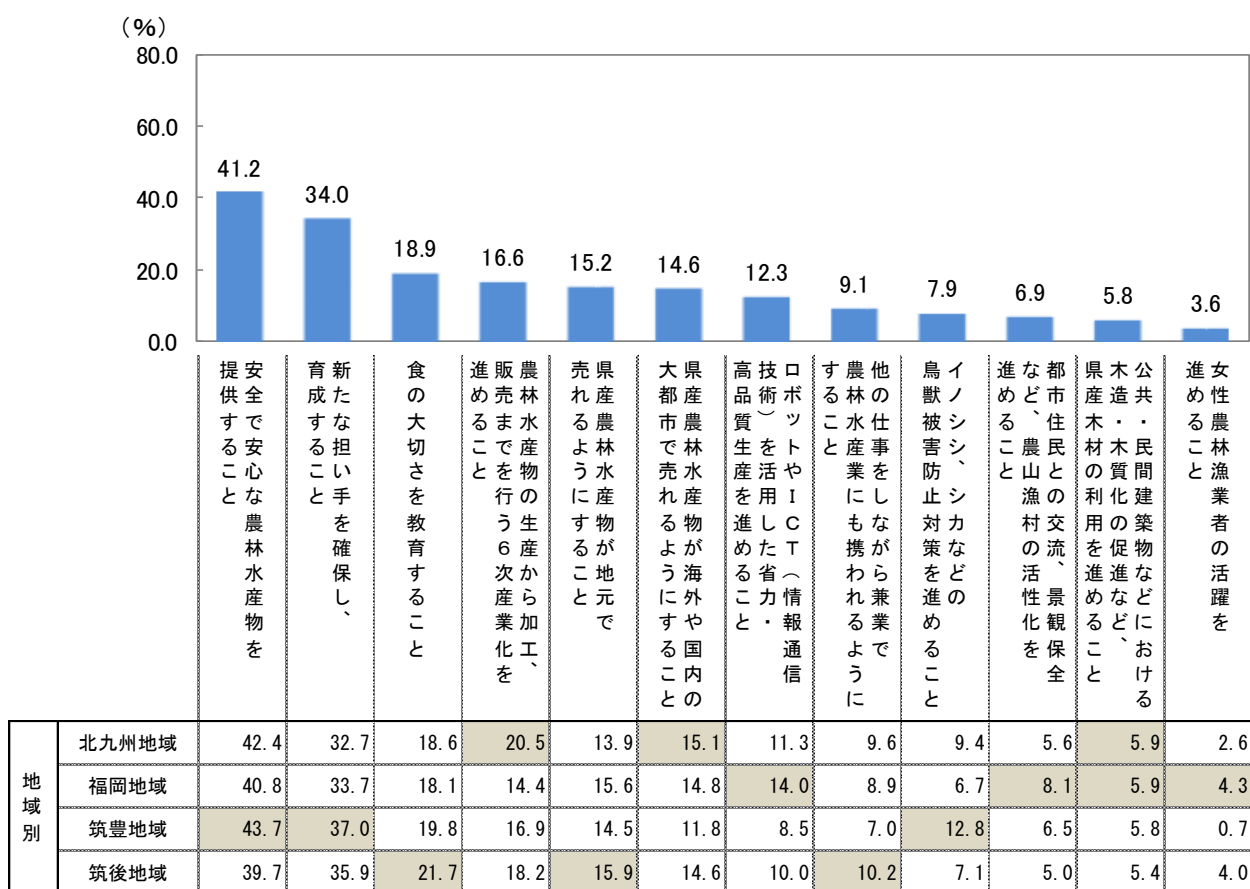
■ は4地域中で最も高い値の地域

(7) 農林水産業

県全体では「安全で安心な農林水産物を提供すること」(41.2%)が最も高く、次いで、「新たな担い手を確保し、育成すること」(34.0%)、「食の大切さを教育すること」(18.9%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「ロボットやICT(情報通信技術)を活用した省力・高品質生産を進めること」、筑豊地域では「イノシシ、シカなどの鳥獣被害防止対策を進めること」が他地域と比較して高くなっています。

農林水産業



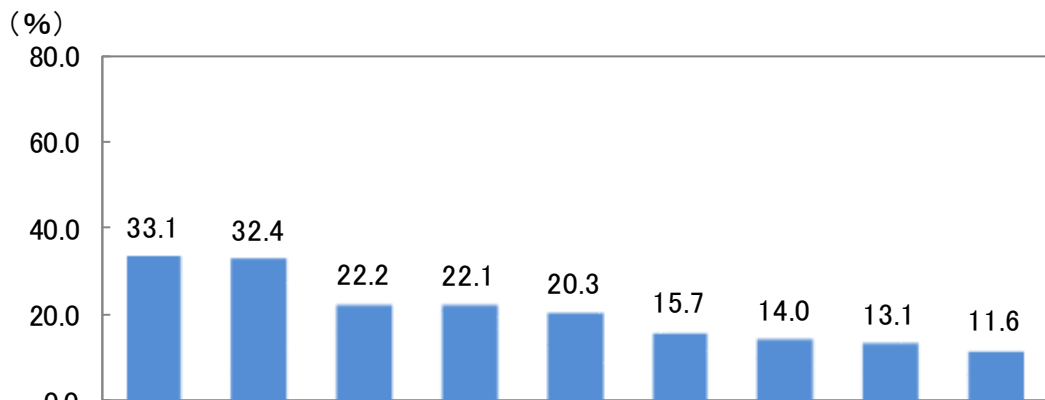
は4地域中で最も高い値の地域

(8) 観光

県全体では「良好で美しい景観づくりや街並みの整備」(33.1%)が最も高く、次いで、「受入環境の整備(観光案内、駐車場、Wi-fi、感染症対策など)」(32.4%)、「観光地へのアクセス向上(渋滞解消、道路整備)」(22.2%)、「参加・体験型観光(農業体験、郷土料理づくり、陶磁器づくりなど)の推進」(22.1%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域、筑豊地域では「祭りやイベントの実施」が他地域と比較して高くなっています。

観光



地域別	良好で美しい景観づくりや街並みの整備	受入環境の整備(観光案内、駐車場、Wi-fi、感染症対策など)	観光地へのアクセス向上(渋滞解消、道路整備)	参加・体験型観光(農業体験、郷土料理づくり、陶磁器づくりなど)の推進	祭りやイベントの実施	観光情報の提供	観光協会の組織強化	国際スポーツ大会や国際会議の誘致による知名度の向上	外国人観光客の誘致(多言語案内の強化、海外向けプロモーションの強化等)
北九州地域	32.5	32.5	21.9	22.4	24.7	15.8	13.9	13.2	9.6
福岡地域	33.7	32.9	23.1	20.3	17.6	15.2	13.6	14.4	12.4
筑豊地域	31.6	31.2	21.7	24.9	24.6	15.9	16.7	8.5	10.1
筑後地域	32.8	31.1	19.4	26.7	20.9	17.1	14.6	10.9	12.7

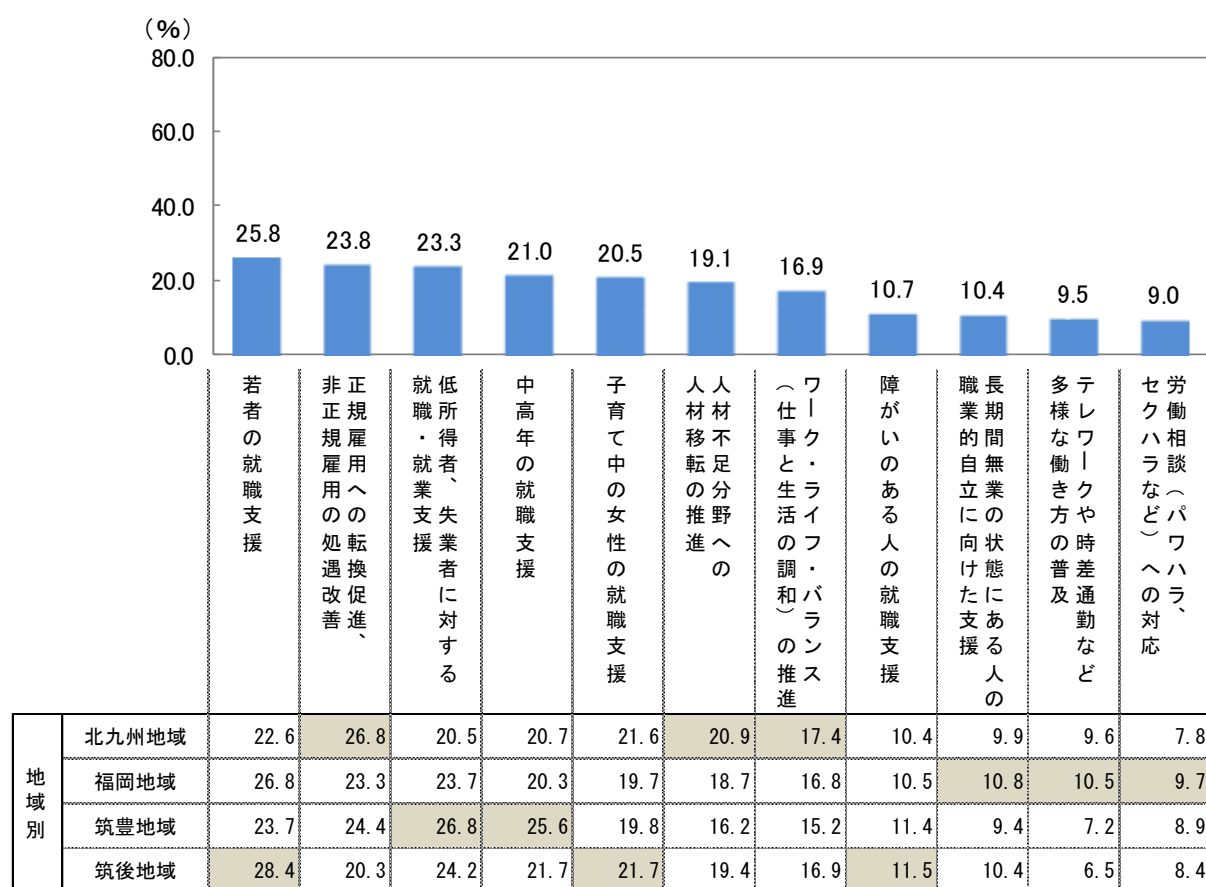
■ は4地域中で最も高い値の地域

(9) 雇用、働き方

県全体では「若者の就職支援」(25.8%)が最も高く、次いで、「正規雇用への転換促進、非正規雇用の処遇改善」(23.8%)、「低所得者、失業者に対する就職・就業支援」(23.3%)、「中高年の就職支援」(21.0%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「中高年の就職支援」が他地域と比較して高くなっています。

雇用、働き方



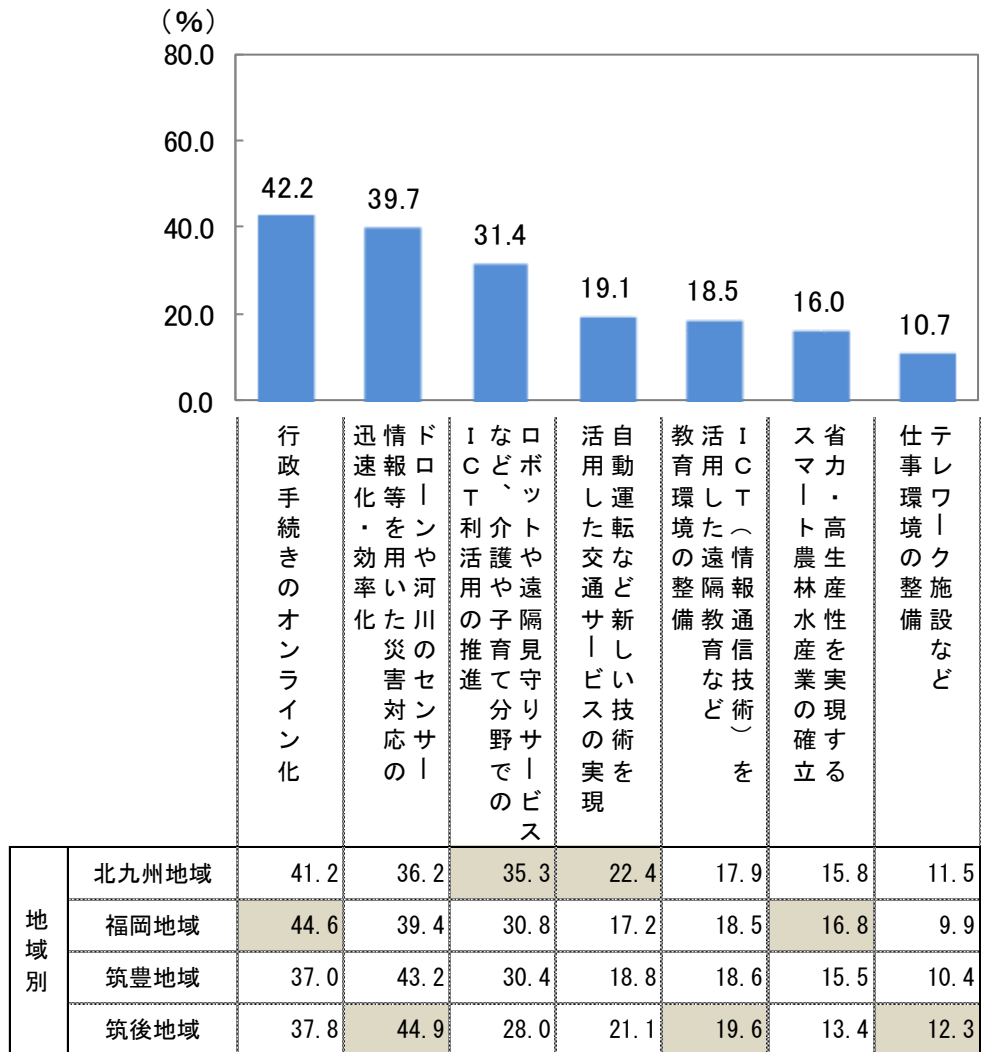
■ は4地域中で最も高い値の地域

(10) デジタル化

県全体では「行政手続きのオンライン化」(42.2%)が最も高く、次いで、「ドローンや河川のセンサー情報等を用いた災害対応の迅速化・効率化」(39.7%)、「ロボットや遠隔見守りサービスなど、介護や子育て分野でのICT利活用の推進」(31.4%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「ロボットや遠隔見守りサービスなど、介護や子育て分野でのICT利活用の推進」が他地域と比較して高くなっています。

デジタル化



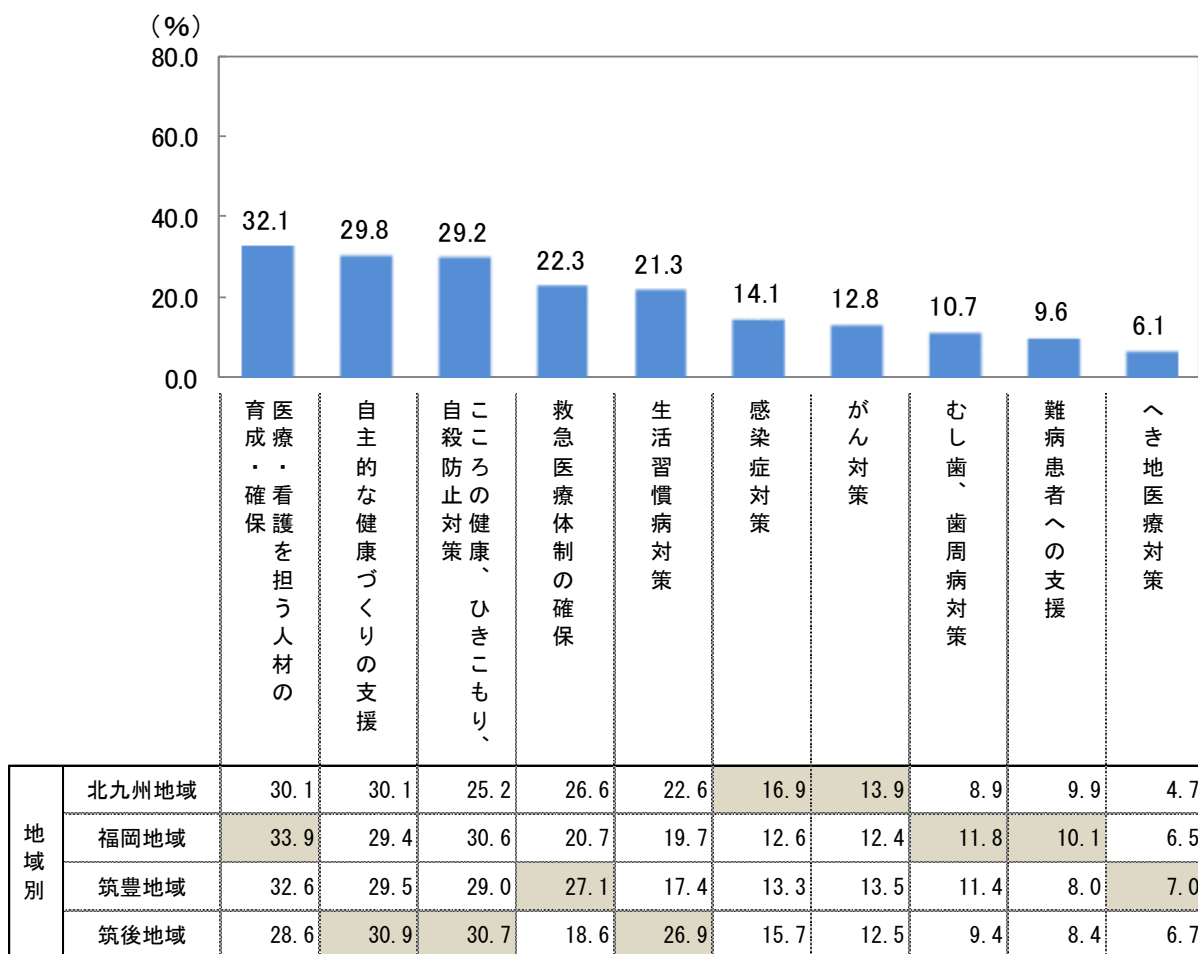
■は4地域中で最も高い値の地域

(11) 保健・医療

県全体では「医療・看護を担う人材の育成・確保」(32.1%)が最も高く、次いで、「自主的な健康づくりの支援」(29.8%)、「こころの健康、ひきこもり、自殺防止対策」(29.2%)、「救急医療体制の確保」(22.3%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域、筑豊地域では「救急医療体制の確保」が他地域と比較して高くなっています。

保健・医療



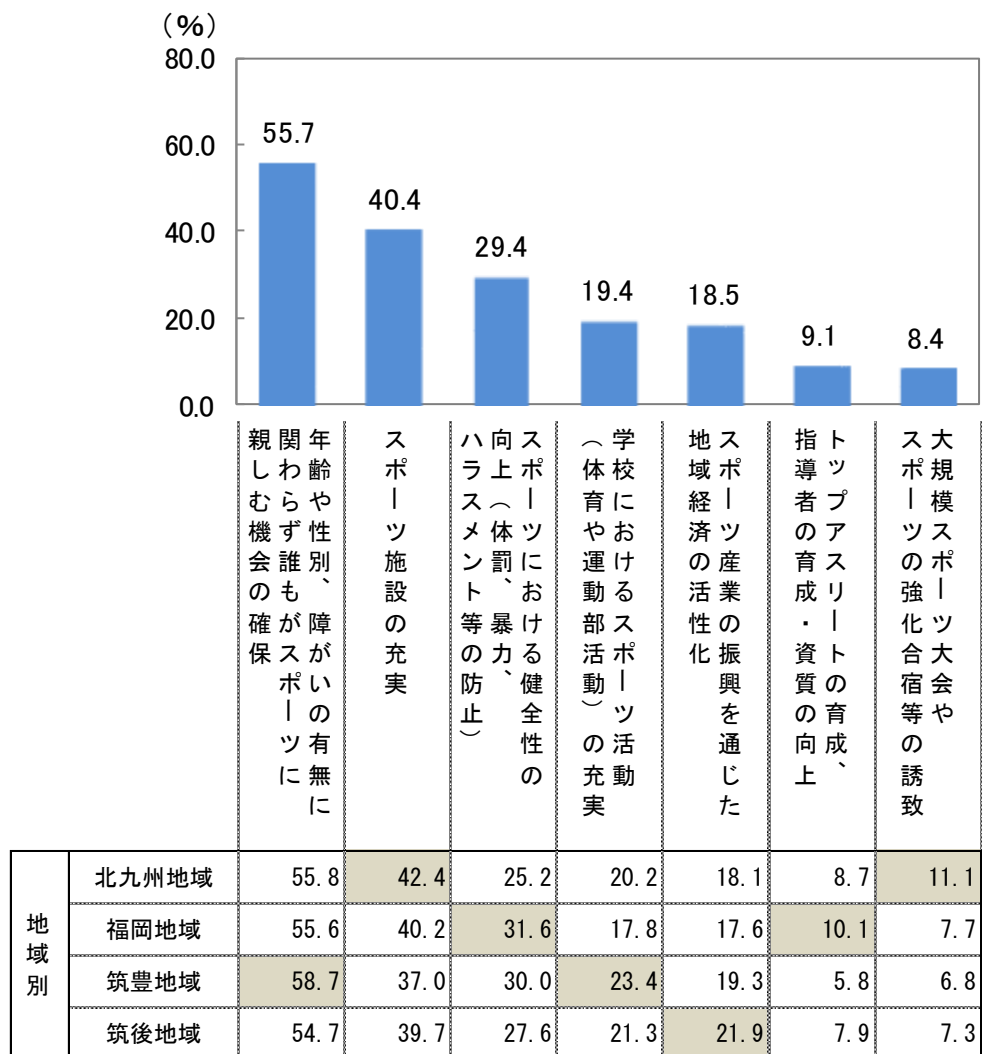
■ は4地域中で最も高い値の地域

(12) スポーツ

県全体では「年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保」(55.7%)が最も高く、次いで、「スポーツ施設の充実」(40.4%)、「スポーツにおける健全性の向上(体罰、暴力、ハラスメント等の防止)」(29.4%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保」が最も高くなっています。

スポーツ



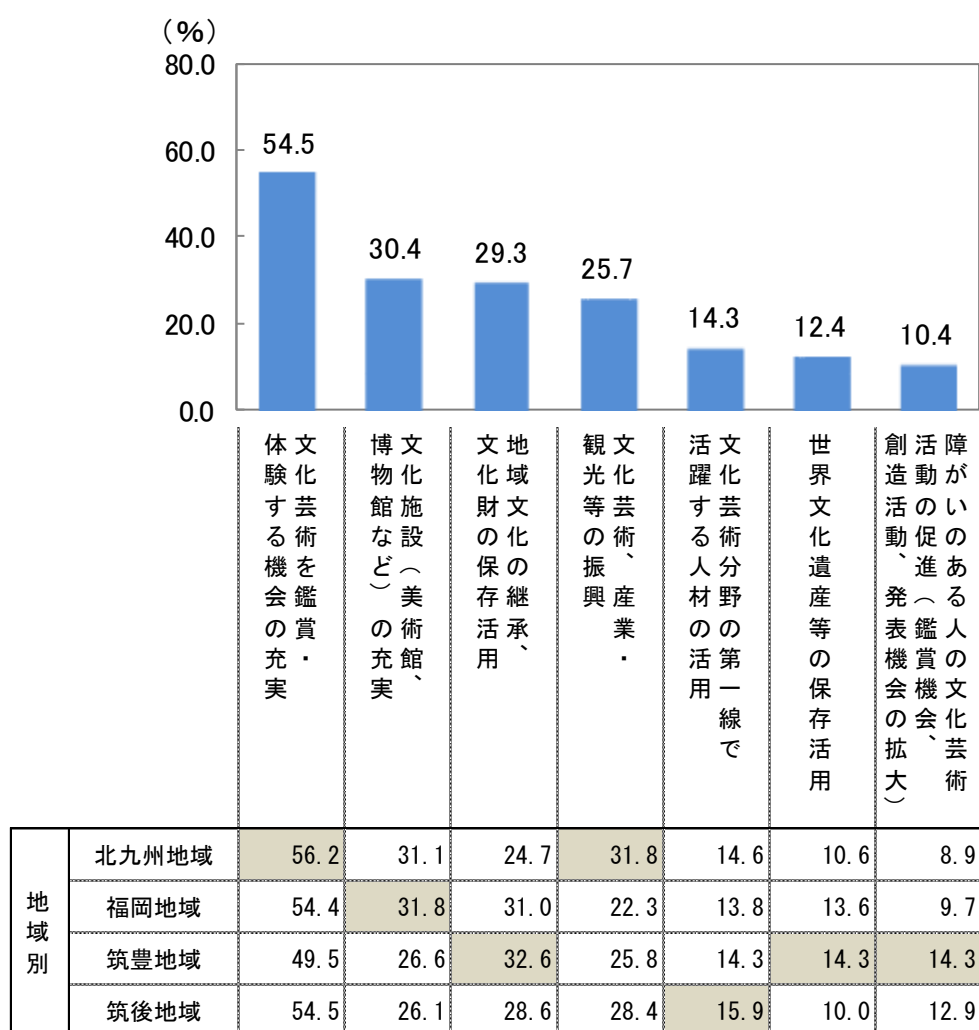
■ は4地域中で最も高い値の地域

(13) 文化

県全体では「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」(54.5%)が最も高く、次いで、「文化施設(美術館、博物館など)の充実」(30.4%)、「地域文化の継承、文化財の保存活用」(29.3%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」が最も高く、北九州地域、福岡地域では「文化施設(美術館、博物館など)の充実」が他地域と比較して高くなっています。

文 化



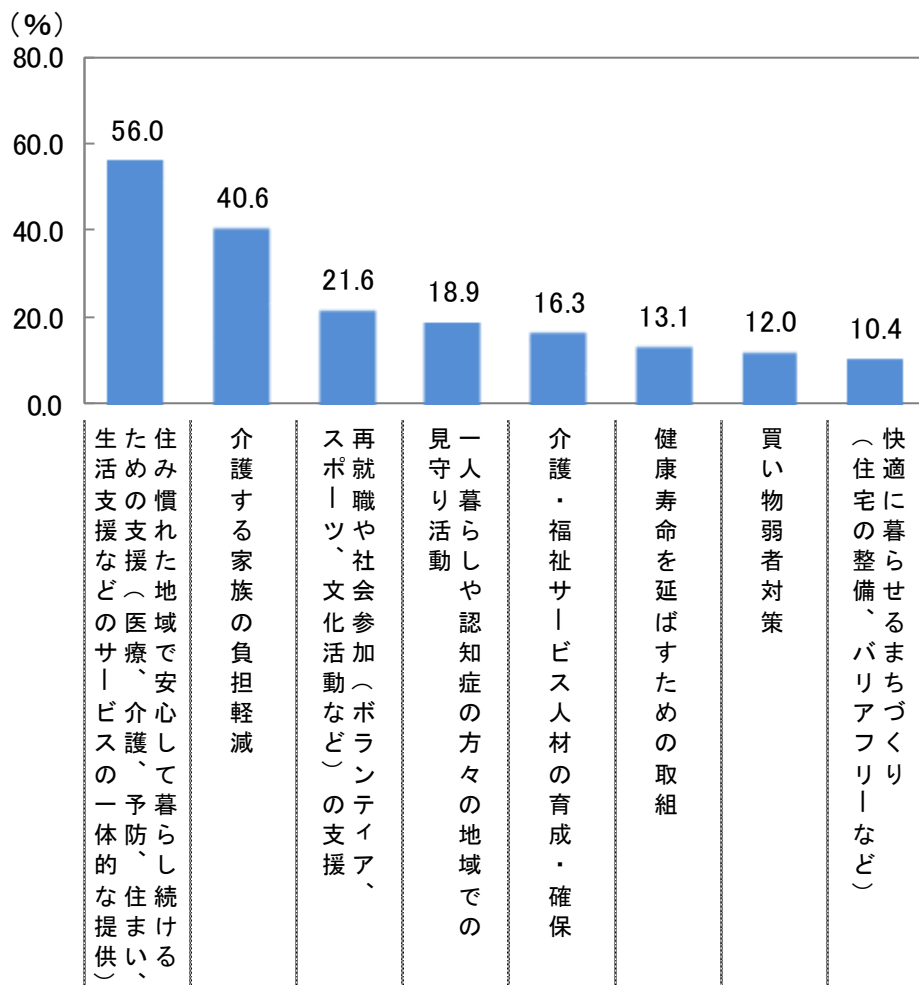
■ は4地域中で最も高い値の地域

(14) 高齢者

県全体では「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援（医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスの一体的な提供）」（56.0%）が最も高く、次いで、「介護する家族の負担軽減」（40.6%）、「再就職や社会参加（ボランティア、スポーツ、文化活動など）の支援」（21.6%）の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「再就職や社会参加（ボランティア、スポーツ、文化活動など）の支援」が他地域と比較して高くなっています。

高齢者



地域別	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援	介護する家族の負担軽減	再就職や社会参加	一人暮らしや認知症の方々の地域での見守り活動	介護・福祉サービス人材の育成・確保	健康寿命を延ばすための取組	買い物弱者対策	快適に暮らせるまちづくり
北九州地域	58.1	42.1	20.7	14.4	18.1	14.8	12.2	9.9
福岡地域	54.2	39.4	23.7	20.3	15.2	12.6	11.0	10.8
筑豊地域	60.9	41.1	17.6	19.1	19.6	11.8	15.9	6.5
筑後地域	56.6	42.2	17.5	20.9	15.9	12.9	13.6	11.7

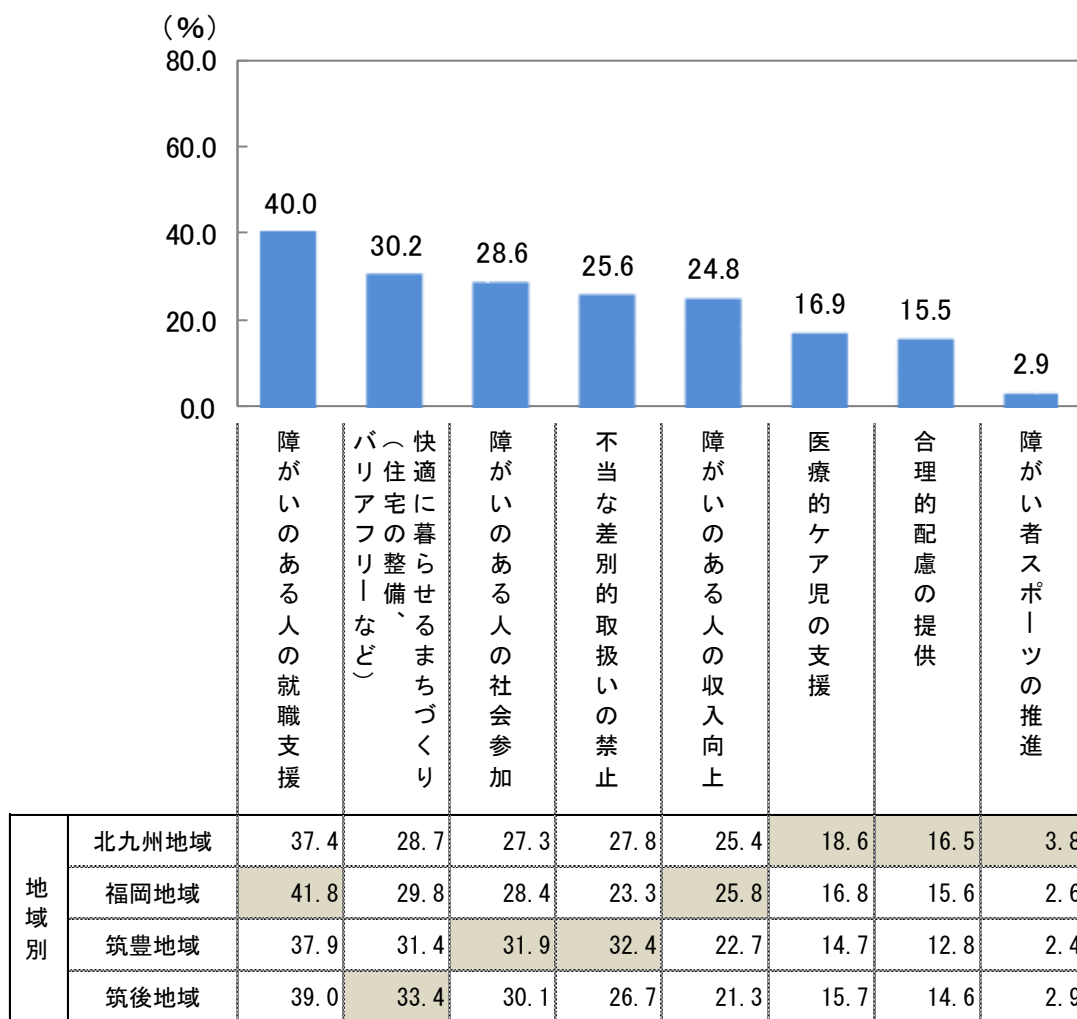
■ は4地域中で最も高い値の地域

(15) 障がいのある人

県全体では「障がいのある人の就職支援」(40.0%)が最も高く、次いで、「快適に暮らせるまちづくり(住宅の整備、バリアフリーなど)」(30.2%)、「障がいのある人の社会参加」(28.6%)、「不当な差別的取扱いの禁止」(25.6%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「不当な差別的取扱いの禁止」が他地域と比較して高くなっています。

障がいのある人



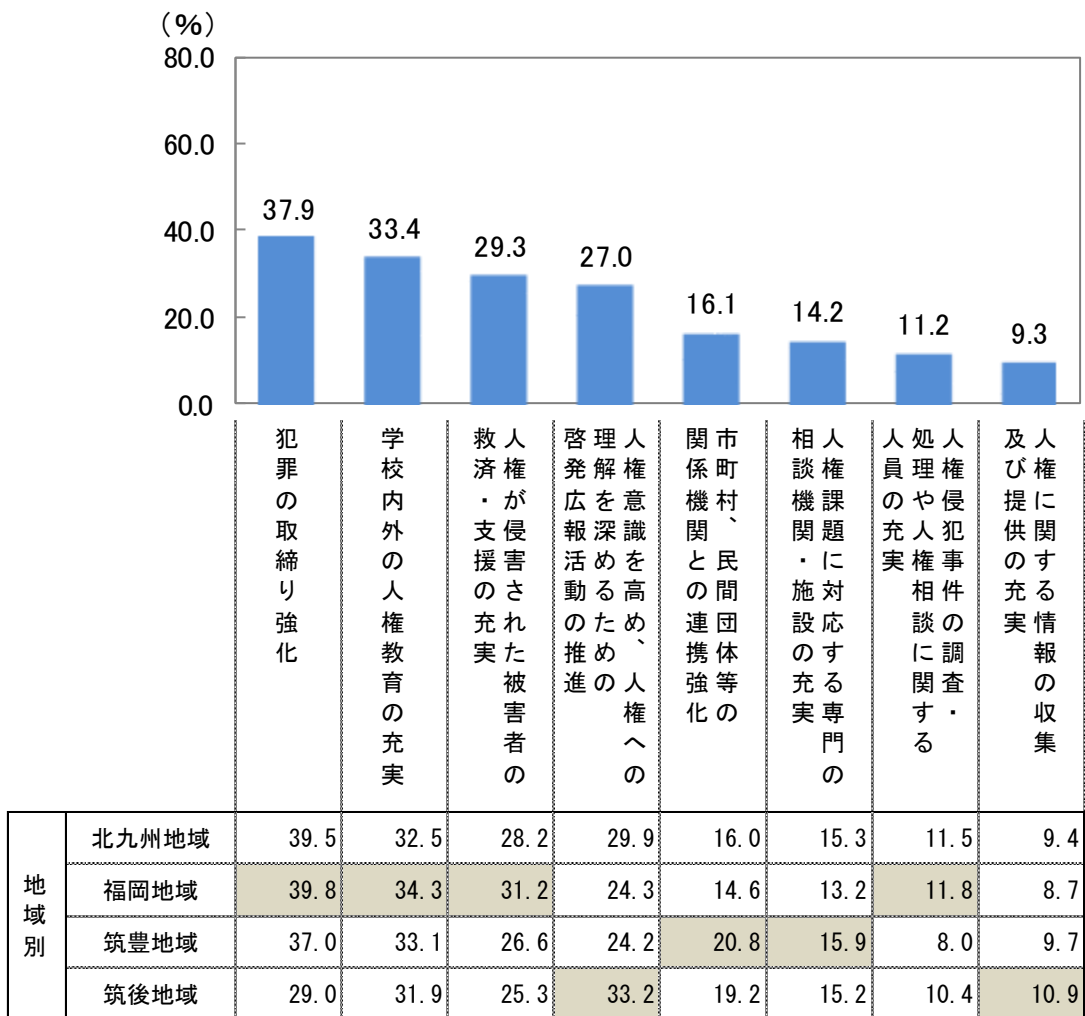
■は4地域中で最も高い値の地域

(16) 人権

県全体では「犯罪の取締り強化」(37.9%)が最も高く、次いで、「学校内外の人権教育の充実」(33.4%)、「人権が侵害された被害者の救済・支援の充実」(29.3%)、「人権意識を高め、人権への理解を深めるための啓発広報活動の推進」(27.0%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「人権意識を高め、人権への理解を深めるための啓発広報活動の推進」、筑豊地域、筑後地域では「市町村、民間団体等の関係機関との連携強化」が他地域と比較して高くなっています。

人 権



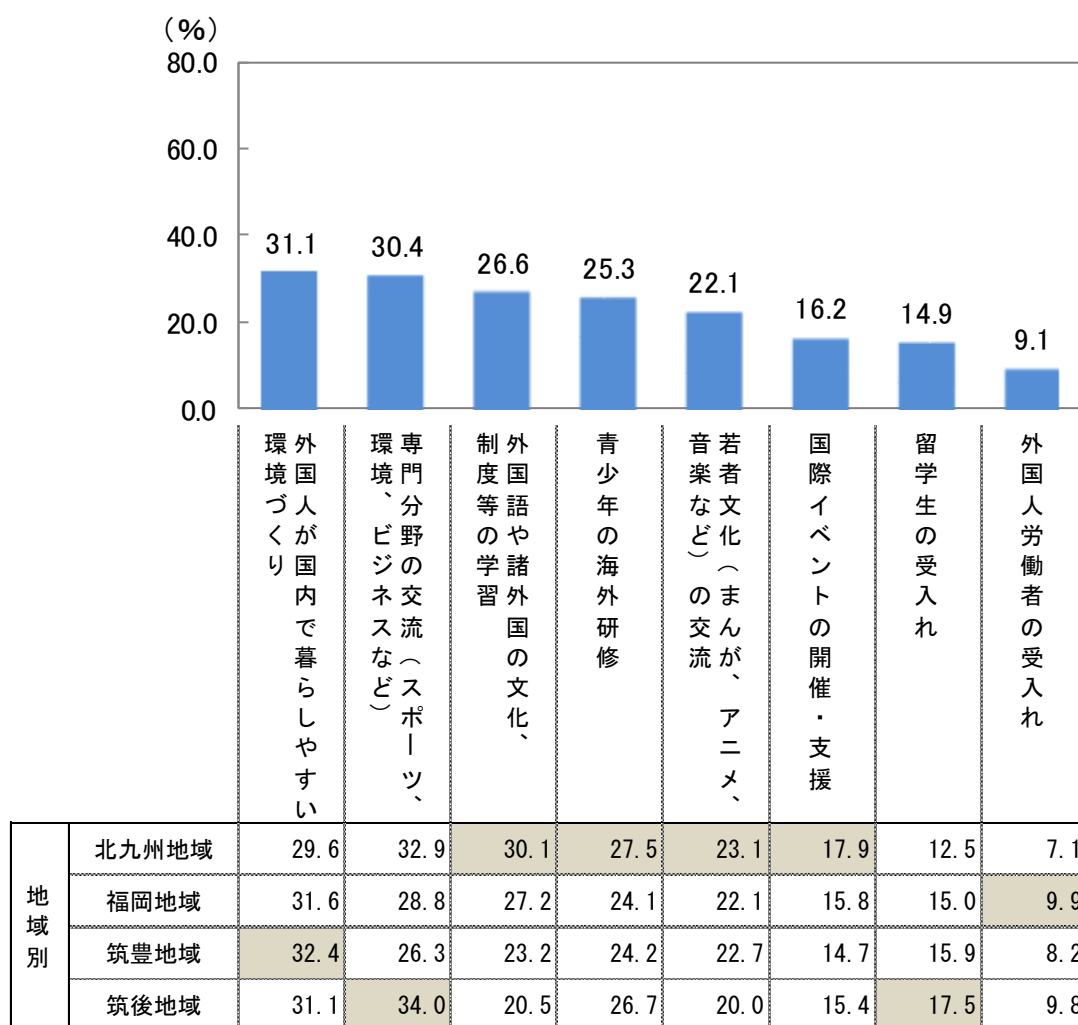
■ は4地域中で最も高い値の地域

(17) 国際交流

県全体では「外国人が国内で暮らしやすい環境づくり」(31.1%)が最も高く、次いで、「専門分野の交流(スポーツ、環境、ビジネスなど)」(30.4%)、「外国語や諸外国の文化、制度等の学習」(26.6%)、「青少年の海外研修」(25.3%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「外国語や諸外国の文化、制度等の学習」が他地域と比較して高くなっています。

国際交流

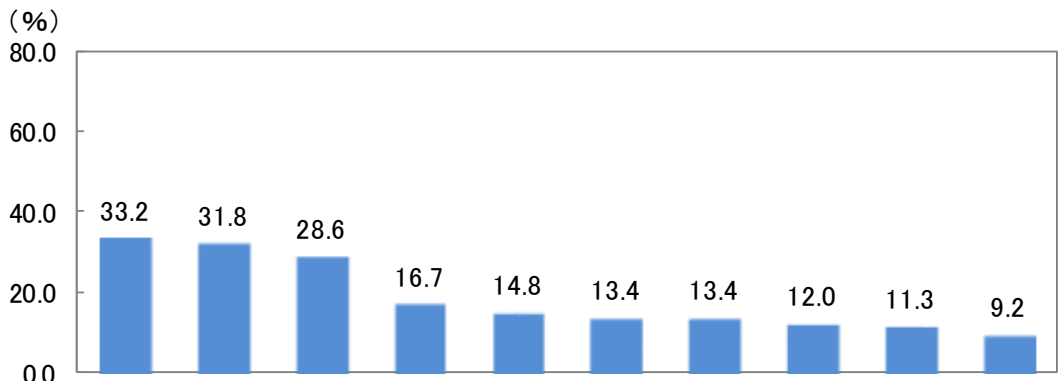


■ は4地域中で最も高い値の地域

(18) 防犯・交通安全

県全体では「子どもや女性、高齢者を犯罪から守るための取組の推進」(33.2%)が最も高く、次いで、「飲酒運転撲滅対策の推進(飲酒運転撲滅に向けた取締り・交通安全教育など)」(31.8%)、「性犯罪、DV・ストーカー、痴漢・盗撮等性暴力根絶対策の推進」(28.6%)、「窃盗や二セ電話詐欺など身近な犯罪の取締りのためのパトロール活動の強化」(16.7%)の順となっています。

防犯・交通安全



地域別	防犯・交通安全の取組の推進率 (%)										
	子どもや女性、高齢者を犯罪から守るための取組の推進	飲酒運転撲滅対策の推進(飲酒運転撲滅に向けた取締り・交通安全教育など)	性犯罪、DV・ストーカー、痴漢・盗撮等性暴力根絶対策の推進	窃盗や二セ電話詐欺など身近な犯罪の取締りのためのパトロール活動の強化	暴力団対策の推進	凶悪事件(殺人、強盗など)の徹底検挙	交通安全活動の推進(交通安全教育、交通規制の見直し、交通指導取締りなど)	サイバー空間の安全確保に向けた対策の推進	防犯に関する情報提供の充実	大麻など薬物対策の推進	
北九州地域	33.6	32.7	26.8	17.9	20.0	13.9	10.6	12.9	14.1	8.2	
福岡地域	32.7	31.6	30.6	13.8	12.0	13.8	15.2	12.4	8.9	10.1	
筑豊地域	33.8	33.8	26.6	23.4	11.4	10.9	11.1	9.2	11.4	8.5	
筑後地域	33.8	29.9	25.3	21.7	18.4	12.5	12.5	10.9	15.2	7.9	

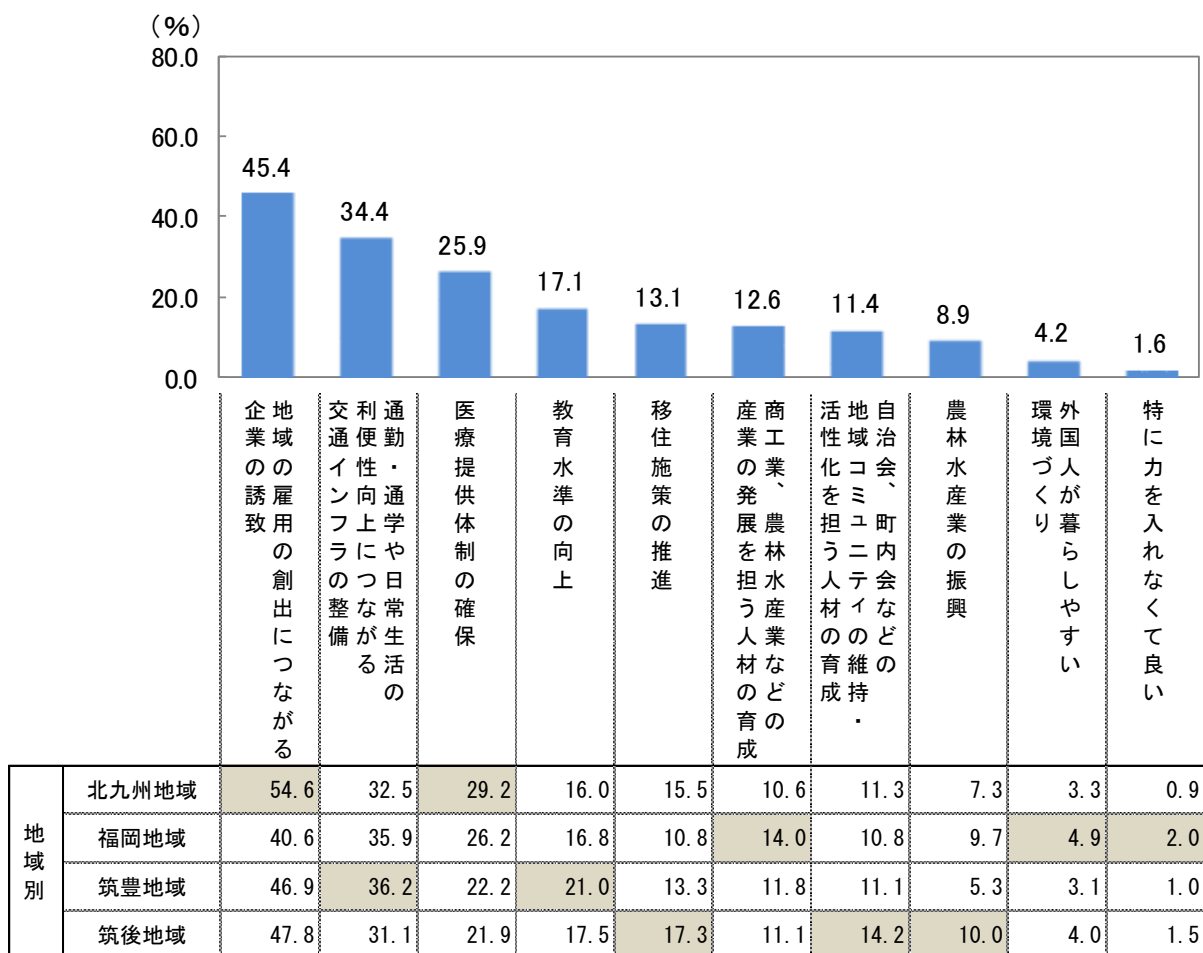
■ は4地域中で最も高い値の地域

(19) 地域振興

県全体では「地域の雇用の創出につながる企業の誘致」(45.4%)が最も高く、次いで、「通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備」(34.4%)、「医療提供体制の確保」(25.9%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「地域の雇用の創出につながる企業の誘致」が他地域と比較して高くなっています。

地域振興



■は4地域中で最も高い値の地域

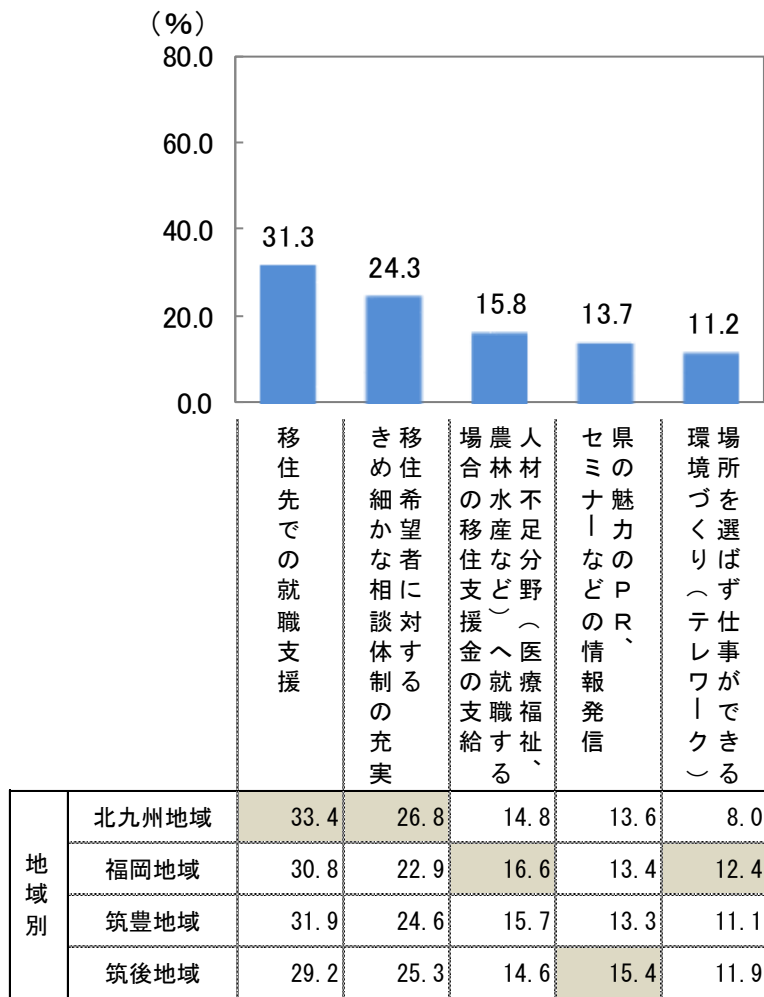
(20) 移住・定住、企業誘致

① 移住・定住

県全体では「移住先での就職支援」(31.3%)が最も高く、次いで、「移住希望者に対するきめ細かな相談体制の充実」(24.3%)、「人材不足分野(医療福祉、農林水産など)へ就職する場合の移住支援金の支給」(15.8%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「移住先での就職支援」が最も高くなっています。

移住・定住



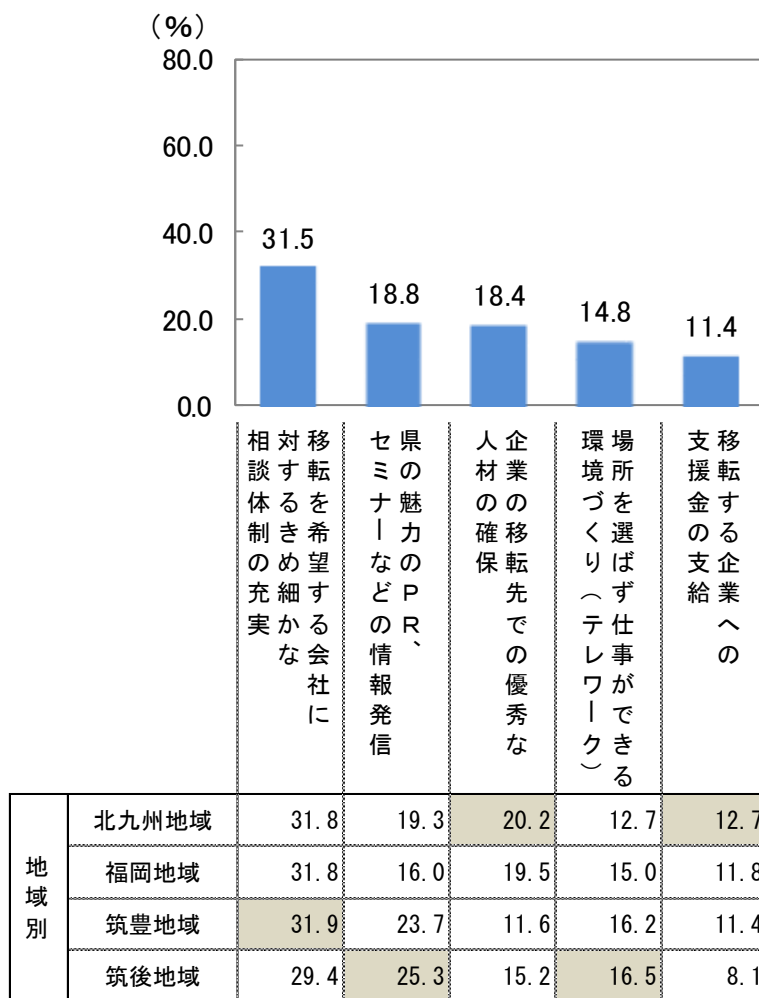
は4地域中で最も高い値の地域

② 企業誘致

県全体では「移転を希望する会社に対するきめ細かな相談体制の充実」(31.5%)が最も高く、次いで、「県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信」(18.8%)、「企業の移転先での優秀な人材の確保」(18.4%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「移転を希望する会社に対するきめ細かな相談体制の充実」が最も高くなっています。

企業誘致



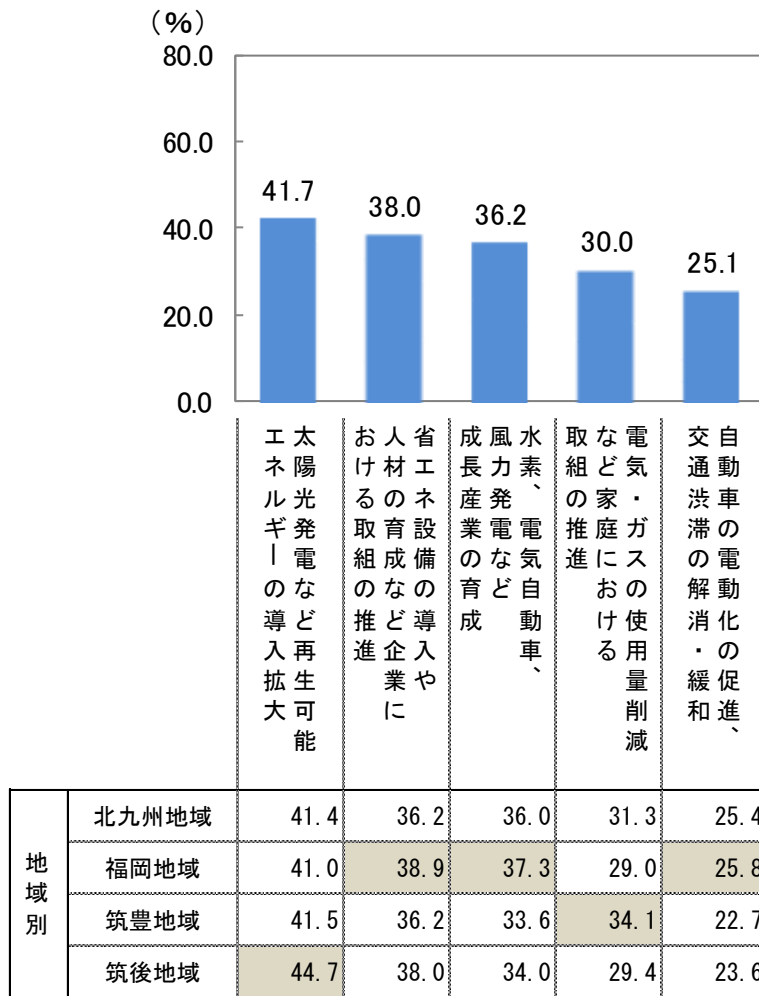
■ は4地域中で最も高い値の地域

(21) グリーン社会

県全体では「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入拡大」(41.7%)が最も高く、次いで、「省エネ設備の導入や人材の育成など企業における取組の推進」(38.0%)、「水素、電気自動車、風力発電など成長産業の育成」(36.2%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入拡大」が最も高くなっています。

グリーン社会



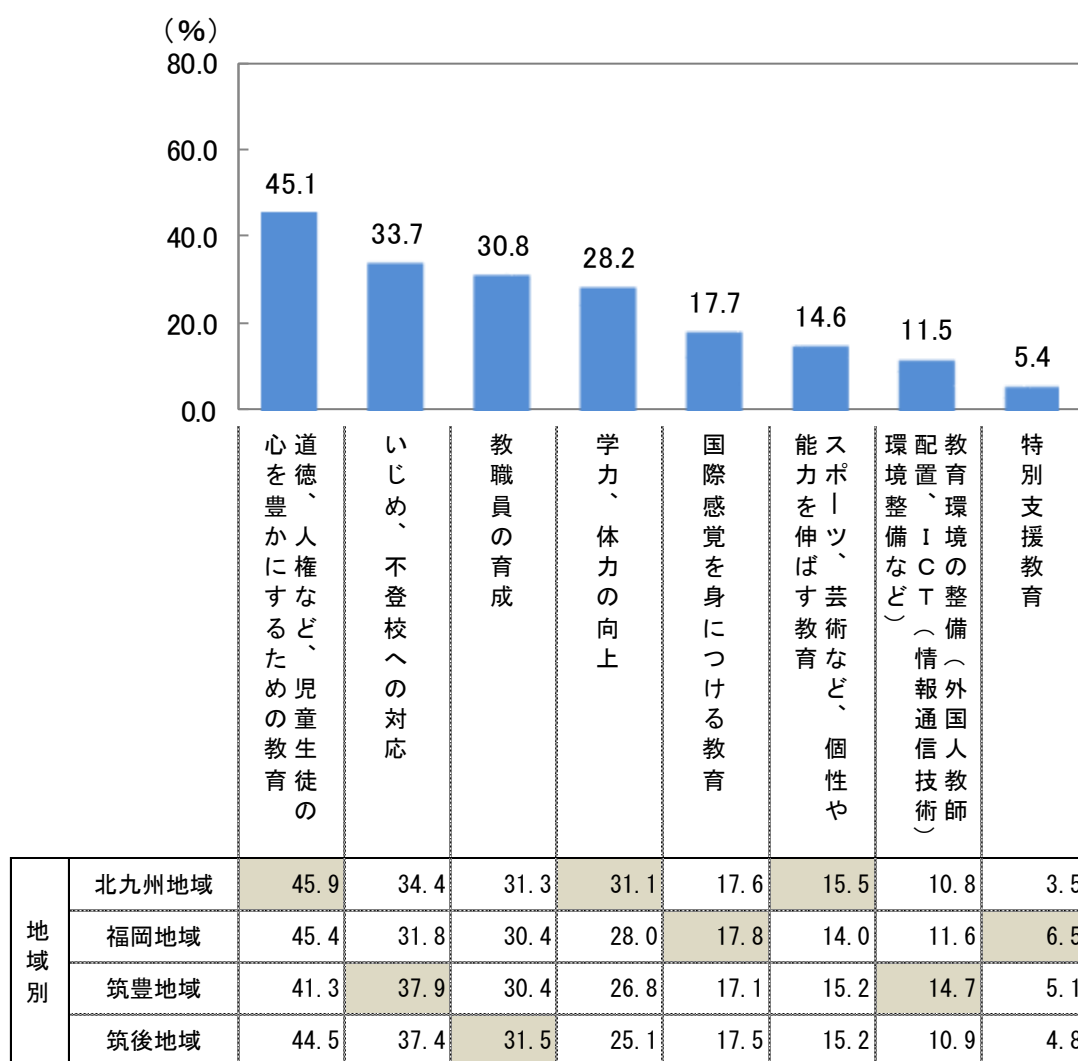
■ は4地域中で最も高い値の地域

(22) 教育

県全体では「道徳、人権など、児童生徒の心を豊かにするための教育」(45.1%)が最も高く、次いで、「いじめ、不登校への対応」(33.7%)、「教職員の育成」(30.8%)、「学力、体力の向上」(28.2%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「学力、体力の向上」、筑豊地域では「教育環境の整備(外国人教師配置、ICT(情報通信技術)環境整備など)が他地域と比較して高くなっています。

教 育



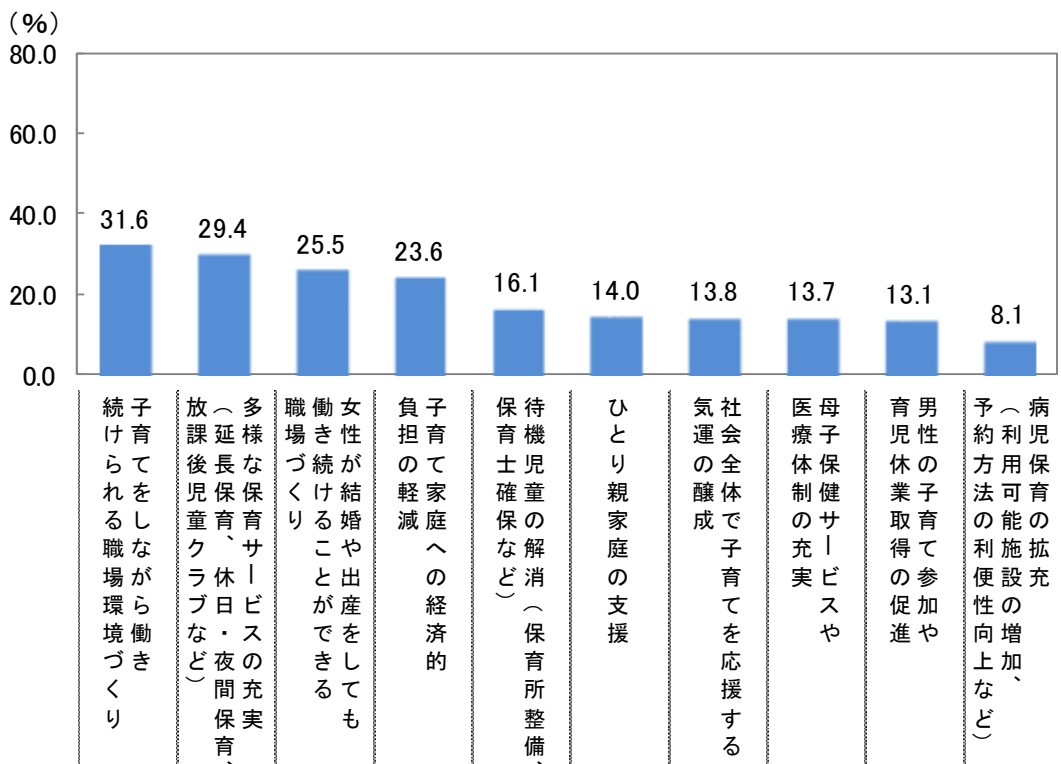
■は4地域中で最も高い値の地域

(23) 子育て支援

県全体では「子育てをしながら働き続けられる職場環境づくり」(31.6%)が最も高く、次いで、「多様な保育サービスの充実(延長保育、休日・夜間保育、放課後児童クラブなど)」(29.4%)、「女性が結婚や出産をしても働き続けることができる職場づくり」(25.5%)、「子育て家庭への経済的負担の軽減」(23.6%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「多様な保育サービスの充実(延長保育、休日・夜間保育、放課後児童クラブなど)」が他地域と比較して高くなっています。

子育て支援



地域別	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
職場環境づくり	32.5	30.0	35.3	33.8
多様な保育サービスの充実	32.9	28.0	27.1	29.9
女性が結婚や出産をしても働き続けることができる職場づくり	24.7	24.5	27.3	29.2
子育て家庭への経済的負担の軽減	24.5	24.1	23.7	20.3
待機児童の解消	14.1	17.4	15.5	15.0
ひとり親家庭の支援	12.7	15.6	15.5	9.4
社会全体で子育てを応援する	12.7	14.2	13.0	14.6
母子保健サービスの充実	15.8	13.0	11.8	14.2
男性の子育て参加や育児休業取得の促進	11.1	14.0	12.1	13.4
病児保育の拡充	8.9	7.7	8.9	7.5

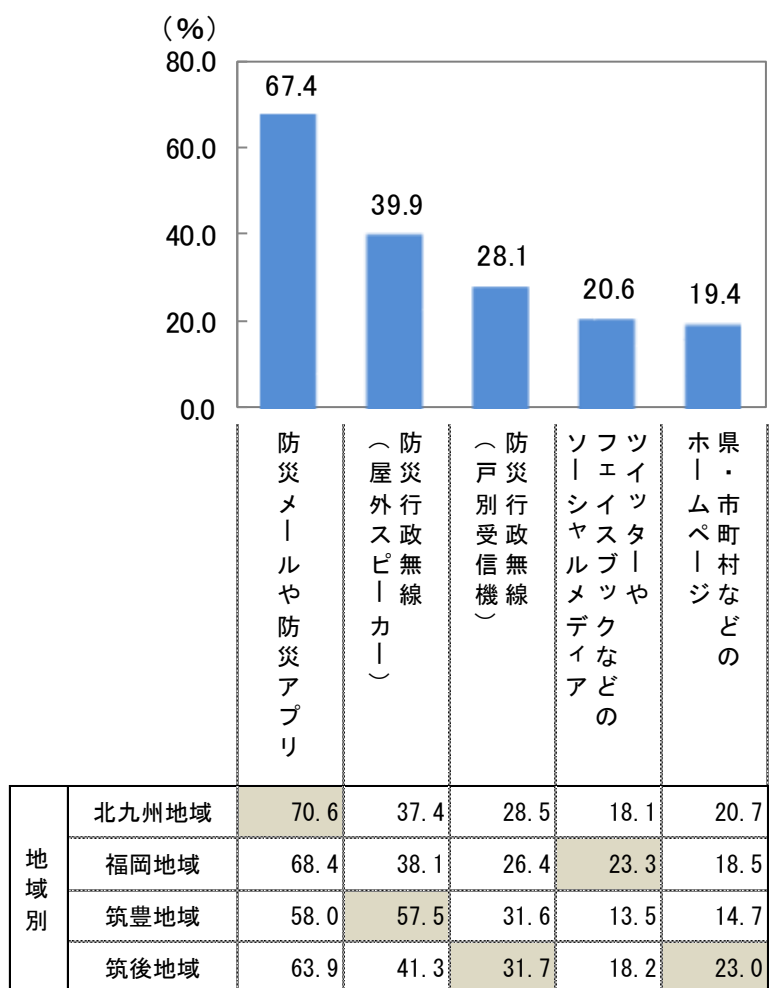
■ は4地域中で最も高い値の地域

(24) 防災

災害時に有効だと考える行政からの情報伝達手段について、県全体では「防災メールや防災アプリ」(67.4%)が最も高く、次いで、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(39.9%)、「防災行政無線(戸別受信機)」(28.1%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「防災メールや防災アプリ」が最も高く、筑豊地域では「防災行政無線(屋外スピーカー)」が他地域と比較して高くなっています。

防 災



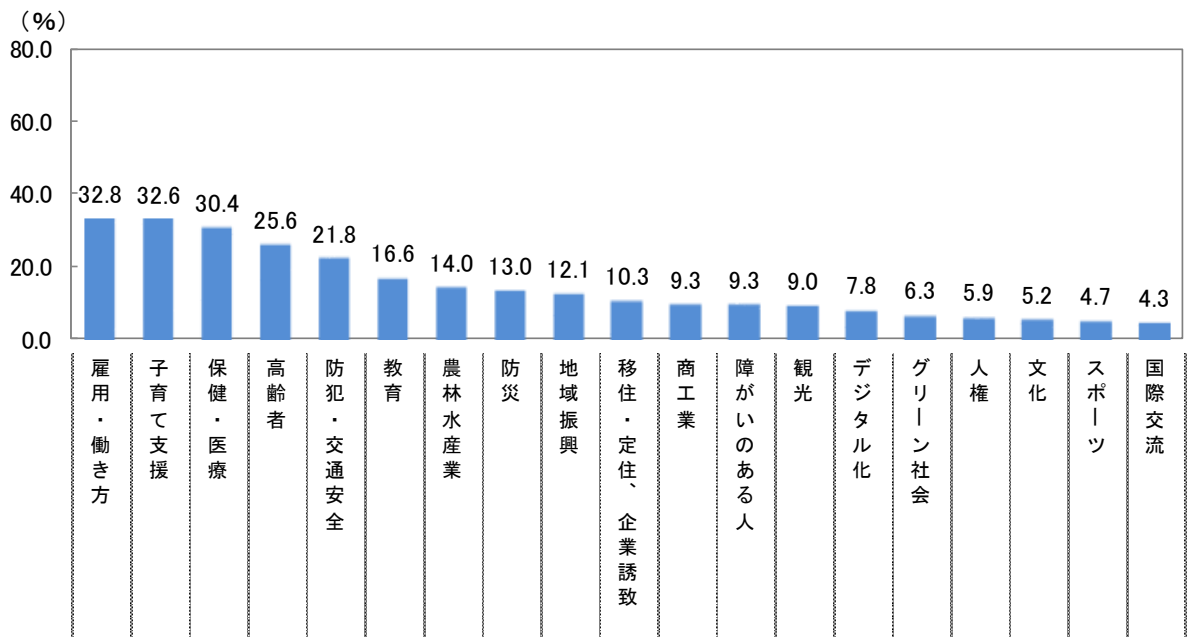
■ は4地域中で最も高い値の地域

(25) 重点分野

県全体では「雇用・働き方」(32.8%)が最も高く、次いで、「子育て支援」(32.6%)、「保健・医療」(30.4%)、「高齢者」(25.6%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「高齢者」、「商工業」、福岡地域では「子育て支援」、筑豊地域では「地域振興」、筑後地域では「防災」が他地域と比較して高くなっています。

重点分野



地域別	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
雇用・働き方	31.1	32.9	34.3	34.7
子育て支援	30.4	34.5	30.4	30.7
保健・医療	31.8	29.6	29.2	31.9
高齢者	31.5	23.1	27.5	23.8
防犯・交通安全	22.1	22.5	17.4	21.1
教育	15.1	18.1	17.6	13.6
農林水産業	13.2	14.2	14.3	14.2
防災	12.9	12.0	14.3	16.5
地域振興	11.3	11.0	18.1	14.6
移住・定住、企業誘致	11.1	9.1	14.3	11.3
商工業	12.5	8.5	8.9	7.1
障がいのある人	8.0	9.7	8.7	9.8
観光	10.6	8.5	6.3	9.4
デジタル化	7.5	8.3	5.8	7.5
グリーン社会	7.1	6.5	6.0	4.8
人権	4.5	6.5	5.8	5.8
文化	4.9	5.9	3.1	4.0
スポーツ	4.5	4.9	2.7	5.4
国際交流	4.0	4.5	3.6	4.4

■は4地域中で最も高い値の地域

3. 自由意見

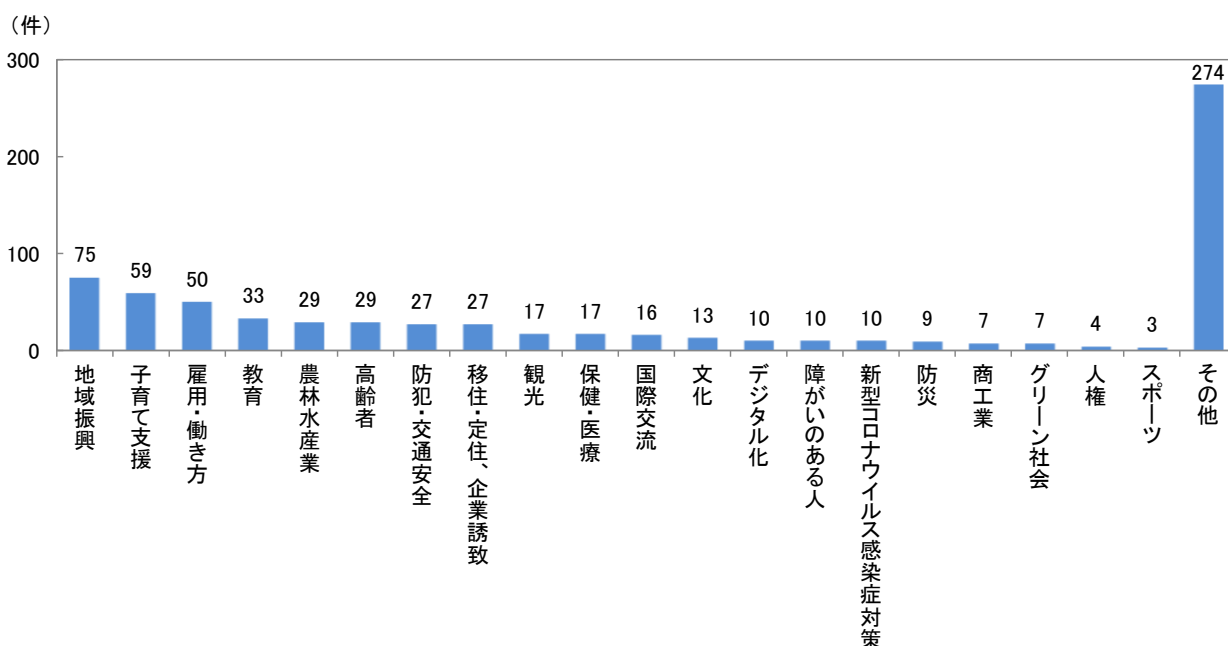
福岡県に期待することや思い描く将来の福岡県の姿について自由に回答してもらったところ、516人の方から、726件のご意見が寄せられました。

その内容を分野ごとに分類すると、「地域振興」「子育て支援」「雇用・働き方」などに関する意見が多く、それ以外にも多岐にわたって幅広く意見をいただきました。

また、どの分野にも該当しない「その他」では、「行政の対応」「少子高齢化・人口減少対策」「人材育成」「安全安心・思いやり」「社会的・経済的弱者への支援」「経済発展・経済成長」といった内容について、多くの意見が寄せられました。

以下に、分類した意見の数と、主な内容の一部をご紹介します。

自由意見（福岡県に期待すること、思い描く将来の福岡県の姿）



○地域振興

- ・それぞれの地域の特徴を生かした町づくり、それに対する県の支援（人、物）、それによって地域の人々が、若い者から高齢者まで、交流がある様な生き生きとした町。
- ・福岡市一強から打開。福岡市の魅力は全国的に知られているが、他の行政が発展する為の施策、及び県外へのPR。
- ・全国の中で福岡県はインフラ整備も充実し住みやすいと思います。ただ過疎化地域への支援もお願いします。福岡県に生れ誇りに思います。
- ・市内ばかりではなく、市外にもっとレジャー施設、デパートなど少しでもいいので建設してほしい。
- ・都市部（福岡市）ばかりがクローズアップされるのは、しかたないことですが、郡部にももう少し力を入れていただきたい。
- ・地方の公共交通機関の充実。電車やバスなどの増便。通勤通学の時間帯にも関わらず、便数が少なすぎると思います。
- ・地域振興券等を頂ければ様々な業界へ貢献したい！
- ・地方にも、安全で綺麗な大濠公園のような公園を作って欲しい。

○子育て支援

- ・北九州市は子育て支援が福岡県内で全くなく今後期待したい。
- ・子育て支援、出産育児一時金の増額、子どもを産み、育てたいと思う取り組み。
- ・共働き世帯とそうでない世帯での子どもの習いごと充実度の格差を解消してほしい。共働きだと送迎のハードルが高く、本人が希望するものをやるには今の働き方を変えなければならないので、学童内であればいいのになと日頃から思う。
- ・もっと子育て世帯に支援をしてほしい。3人目産みたいけど、悩むので…。
- ・大学までの教育費無償化、及び医療費の無償化。ご検討宜しくお願い致します。
- ・世帯収入関係なく、子育て世帯の教育費負担減、若い世帯が移住したくなる子育て支援。
- ・子どもの養育費が、少子化に直結していると思うので18歳未満の子どもがいる家庭への手当てを増やして欲しいと思います。
- ・子どもの将来に不安を抱えていたり、大学に行かせてあげられる自信がないからと、子どもを持つ事を諦める人が居なくなるような社会になっていく事を信じていますし、期待しています！
- ・神戸市のように、子育てや教育支援から住民の定着をはかれるような県になってほしいです。
- ・子育てしやすい街づくりにしてほしい。地域によっても子ども手当の違いがあったり、医療費にも違いがあるのでなくしてほしい。

○雇用・働き方

- ・県外に行かなくても、学べる環境や働き口がある。
- ・女性が働きやすい職場。資格取得の支援。
- ・健康な中高年の雇用を就職支援と正規雇用。
- ・転職と言えば20代～30代を対象としている企業が未だに多いと思うが、定年が70歳と引き延ばされる事からも40代～50代の転職希望者に対してももっと支援が必要となると思う。
- ・物流の仕事にも休みがほしい。
- ・働く所がないという話をよく耳にしますが、福祉業界は人手不足で満足のいくサービスが提供できていません。福祉業界で働く人を確保して欲しいです。その為には給料アップが必要だと思います。
- ・賃金をあげてほしい。
- ・ブラック企業のパワハラ、過剰な残業、休みが取れない、そんな企業を無くしてほしい。
- ・文化財に関わる人材の雇用を増やしてほしい。

○教育

- ・小中高における国際教育を充実させていただきたいと思います。(英語などの語学や外国の方との交流など)
- ・テレビで授業風景を見ていた時、先生がパソコン片手に授業し、教室内の生徒、リモート授業の生徒両方を見ていたので、教室天井にカメラの設置などをして、リモート授業を楽にしてほしい。教科書をタブレットなどにデータとして入れ、重い荷物を持って学校に行かなくていいようにしてほしい。
- ・教育に力を入れて未来が明るく感じられるように子ども達を育てていくことが、将来大人になって素晴らしい人材として福岡県で生活し活やくでき、結果として福岡県の発展につながると思います。
- ・福岡県を日本を代表する国際都市に成長させる為に何はさておき、子ども達の英語力の向上に力点を置いてほしい！！

○農林水産業

- ・自然を残して頂きたい。地元で取れる食べものを次の若い人達に、つなげてほしい。
- ・安心・安全な食べ物が食べられるようにオーガニック食品の推進、オーガニック化をお願いしたい。子ども達に安心・安全なものを食べさせたい。
- ・食は、できるかぎり自給自足出来る福岡県であってほしいです。
- ・地産地消の促進の為の環境づくり。国内・外への色々な面の発信力づくり。
- ・農業をもっと魅力ある産業にする取り組みも必要ではないか。日本の安全でおいしい農作物をアジア諸国へ積極的に輸出するシステムを強化していけば、農業が魅力ある産業になり、従事者も増えると考えます。
- ・食品の自給率を上げる政策。自給率が低いことで他国の状況によって価格、供給量の波を小さくできるようなサプライチェーンをつくる。

○高齢者

- ・高齢者や認知症の人への対応がスムーズにできる社会になって欲しいです。デイサービスの利用や施設などの入所がスムーズに出来る社会。
- ・高齢者の健康の為、だれでも利用できる施設やサークルがほしい。
- ・老後の充実。安心して暮らせるように。
- ・公共交通機関が少ないため、自家用車での移動が必須。高齢になって免許返納したくても、交通手段がないためできない。タクシーを安く使用できれば良いと思います。
- ・スーパーマーケット、病院、コンビニ、どこでもバリアフリーの充実。高齢者が、安心して住める地域。
- ・情報の伝達方法、高齢者になると入手の方法がうとくなります。
- ・過疎地域に暮らす高齢者への支援。買い物弱者などの救済に目を向けて欲しい。

○防犯・交通安全

- ・最近、身近な所での犯罪が増え、子どもや孫が巻き込まれたりしないか、不安に思う事が増えたので、安心出来る地域でいて欲しい。
- ・飲酒運転や少年犯罪などの防止につとめて頂きたいです。これからも市民が安全で平和な暮らしが送れるようにお願いします！
- ・性犯罪者にはマイクロチップを付けるなど、管理を熱望。性犯罪を犯した教職員は免許取り消し。
- ・交通整備を行い、安心安全に暮らせる防犯のない福岡県にしてほしい！
- ・暴力団、詐欺、交通ルールなど犯罪がない社会。(加害者にも被害者にもならない)
- ・飲酒運転はどうしてなくなるのか？ 県外の人から「また福岡」とよく言われています。良い事で「また福岡」と言われる様になって欲しい。

○移住・定住、企業誘致

- ・企業誘致を行ない人口を増やし活気ある福岡県にしてもらいたい。
- ・九州から若者が就職などで関東や関西に行かなくても良い様に、九州に一流企業の誘致をして若者が九州に永住出来る魅力有る福岡になってほしい。
- ・国内外問わず、製薬会社等の研究が出来る企業の誘致。
- ・地域によっては若い人の働く場所がないので、地元で働ける企業が多くあればいいと思います。
- ・筑豊地域の若者は定住していない。都会に移住する人が多い。筑豊地域の人口を増やしてほしい。
- ・今後の発展のためには人口を増やすことは重要です。国内外から産業を誘致し、労働人口を増やす努力をして頂きたいです。職が増えれば、人が集まり、町は発展します。
- ・過疎化が進む地域の人口流出を止めてほしい。子どもが減ると学校統合が進み、家族ごと都市部に移住したりするため人口減少に歯止めがかからず、若者の仕事もないため町の活性化は望めません。地域に学校を残すこと、企業を誘致して働く場を確保することを強く希望します。
- ・魅力のある住みやすい県だと思っていますが、就職で離れる人が多いので福岡でも全国区レベル条件で働ける会社の誘致をすすめて福岡離れの阻止ができればいいと思います。

○観光

- ・アジアの玄関口として、観光や金融面での発展につながる施策に取り組んでほしい。
- ・県外、海外からの友人など案内出来る場所がない。
- ・観光スポットがもっと多くあるといい。地域によっては全くなく人口が減少している。
- ・景勝地が少ないと思います。県民割で行きたい所がなく、もしあればPRとアクセス整備を充実させてもらいたいです。
- ・子育て世代や若者世代が観光場所を決める際、遊園地やテーマパークなど遊べる所がある所で探す人が多いと思います。現在福岡県には大規模遊園地が無いので、福岡県に旅行に来ようとは、なかなかかならないです。関東、関西と大きなテーマパークがあるので、九州(福岡)にも誘致すると良いのではないかと思います。福岡県の人口増加にもつながると思います。

○保健・医療

- ・医療提供体制の改革。県立の施設を増やして土日祝日夜間の医療提供をあたり前にしてほしい。公務員と呼ばれる人達が土日祝日夜間も交代で仕事してほしい。(役所、病院、保育など)優れた医者、医療施設を増やしてほしい。
- ・今後、多種多様な感染症が生まれて来る時の治療薬の開発に力をお願いします。
- ・生活困窮者に対する将来に向けての支援やひきこもり、ADHD、精神的に弱い方への支援センターなどの増設など。
- ・ホスピスが受けられる所が少ないように思います。
- ・医療は全国的に新しいことを行なっているように感じられる。もっと全国に医療が進んでいることをアピールし、優秀な人材を育成する現場確保を行って欲しい。

○国際交流

- ・九州だけでなく世界の入口として様々な取り組みをしてほしい。コロナ対策も必要だが、それと同じく福岡が世界の都市として。
- ・アジアへの玄関口としての国際交流都市。
- ・1人当たりGDPで韓国に抜かれた現在、九州、中国圏の核として、アジアの経済拠点として国際都市（福岡市中心でなくともよい）に発展してほしい。
- ・福岡県は、他国と近い県ですので国際交流等、海外との貿易含め、色々な可能性がある県だと思っていますので、日本の良さを海外に発信し、他の国と交流できるような、県にしてほしいです。

○文化

- ・演劇やコンサートなど、コロナ前のように多く開催されるようになってほしい。
- ・九州の玄関口である福岡県は、新しいもの、トレンドリーなものが、東京と同じ位、入ってきますが、古いもの、伝統のあるものも守って欲しい（建物、文化）と思います。
- ・新しい分野に力を入れるのは大切な事だが、残されている文化や伝統、後世に残したい建物などの保存にも力を入れて、新しいモノと古いモノが共存する土地として評価される県であってほしい。
- ・天神ビッグバンなどでは、古いものを壊し、新しいものを作っている印象。歴史のあるものを大切にしたい街づくりを求める。また文化的な盛り上がりには欠けていると感じる。行政の支援も少ないのではないかと感じる。人が元気になる政治を。

○デジタル化

- ・デジタル化に要して少しずつ便利になってきている昨今、取り残されている自分がいるのも事実。マイナンバーカードは作成させて頂きましたけど、そのカードで手続が一括で済むように頂ければ助かります。住民票や所得証明がとれるだけでは、色々な手続きの書類を書きながら提出しなければなりません。年々、歳をとっていき毎に区役所などで手続きするのが難しくなり、理解力もとぼしくなりますので。
- ・デジタル化を進めて、世界最先端の施設や人材が集まる研究所を作ってほしいです。
- ・地方自治体のデジタル化。
- ・教育や企業でのデジタル支援への補助金支援により、多くの方が過ごしやすい環境整備・整備後の活用支援に期待します。

○障がいのある人

- ・電動車椅子や車椅子の生活されている方が通りやすい道路の設備。
- ・見た目では、障がい者と分かれる方は、良いのですが、透析患者とか心臓疾患の方などにもう少し、社会も温かく見守ってほしいです。
- ・障がい者福祉の充実を希望します。

○新型コロナウイルス感染症対策

- ・コロナ対策でもう少し県民に支援して欲しい。
- ・ひとり親家庭ばかり支援するのではなく、もっと広い目でみてほしい。コロナで収入が減少しているのは、夫婦そろっていても現実には起こっています。
- ・最近コロナ感染者が増えてきているので、医療体制や、ワクチン、支援など引き続き力を入れて欲しいです。早く、安心して笑って暮らせるようになればと思います。
- ・知事のコロナ対策が不十分。
- ・コロナの感染拡大によって、医療機関が逼迫している状況が続いており、そんな状況でもなんとか頑張っている医療従事者たちへの多方面での配慮を、再検討していただきたい。

○防災

- ・管轄はどこかは知りませんが、西消防署の場所を広い所に作った方が良いと思う。大きな災害が起こって消防署の上の西九州自動車道が阪神淡路大震災みたいに倒壊したら、救急も消防も使えなくなると思うので。
- ・市役所の職員が、他の市や、他県の方が多く、地域の災害情報にうとい人が多く感じます。試験や、採用条件がある事は、分っていますが、地元の地域振興のためにも、市の職員は、同市の人の採用を希望します。県の職員も、他県より福岡の人を採用して下さい。
- ・災害があっても、人と動物が気がねなく暮らせるように。
- ・水害対策を早急に行ってほしい。
- ・最近の大雨による洪水などの多発にたいして、積極的に防災に取り組んで欲しい。家の前の県道が、大雨のたびに冠水して通行止めになるのでどうかしてほしい。

○商工業

- ・若者が都会へ多く流れることなく県内に留まり仕事ができること。その為にももっと若者達の起業に目を向け育てて欲しい。
- ・十分な自営者支援。
- ・中小企業の支援。
- ・個人事業主、フリーランサーの社会的地位向上。

○グリーン社会

- ・海も山も街もある福岡県、自然環境を大切に、グリーン社会の先駆者となってほしいです。四国ではリサイクル資源を細分化し、ゴミを減らしている町があるとテレビで観ました。福岡でも可能であれば、こういった取組みで雇用を増やすと良いのではないかと思います。
- ・再生可能エネルギーを有効活用する為に規制緩和を行い、畜電池など設置する事により安定エネルギー化の促進と同時に経済活動の活性化を計る。
- ・水素エネルギー発電の開発→温暖化の抑制。

○人権

- ・ひとりひとりが大切にされ、みんなが自己肯定感をもって生活できるような社会であってほしい。子どもの人権を大切に、子どもを守り、子どもたちには、すこやかに成長してほしい。
- ・LGBTQIA平等、同性婚・夫婦別性の選択など。

○スポーツ

- ・生まれる子どもが減っている現状で何か1つでもスポーツ教育を義務づける方向へしたらどうでしょう。
- ・高校で部活動を指導していますが、どれだけ指導をしても賃金が支払われることはなく、教育委員会とのやりとりが遅いためか2年以上無給で働いています。福岡県では全国高校総体が行われる予定であり、スポーツ振興も図ることができる環境がありながら、指導者への配慮は全く感じられません。スポーツの指導者数は人口比にしてもかなり少数だとは思いますが、それらの少数の労働者への支援等を期待します。また、福岡県が行なっている様々な取り組みはラジオもしくはホームページでしか知ることができず、より広い範囲で知ってもらえるような広告が必要かと思えます。

○その他

(行政の対応)

- ・具体的にはまだありませんが、何か提案したい事があった場合、柔軟迅速に対応してほしい。行政は手続き等、面倒なイメージがある。企業の誘致や発展に力を入れるのではなく、ちゃんとした意味で“豊か”に暮らせる緑があって空気や水がきれいな町づくりを期待します。
- ・免許返納後の交通手段についての対応が居住市によって違いがある。等しくして欲しい。
- ・県が管理する道路、河川、行楽地の清掃、浄化にも力を入れていただきたい。各種施策もさることながら、目に見える環境の整備も重要です。雑木や雑草だらけの環境は行政の力不足を感じるどころです。これらは、各自治体にも望むものです。
- ・県の総合計画期間が5年間ということですが、次のステップから最終の到達点までの構想も必要と思います。福岡県の取組みが他県のモデルとなる様、様々な情報の発信県になれば良いと思います。
- ・住みやすい福岡県というイメージがある。もっと住みやすい県になる為には、行政も柔軟に対応する事が大切だと思う。
- ・コロナ情報や防災情報等、身近から発信があると安心です。地域社会のいきとどいた情報の提供を希望し、より安心した生活が続くよう期待します。
- ・市町村が統合されて、行政サービスが悪くなったり、不便を感じる事が多くなった。税金や水道代など以前より高くなりました。市民に痛みを求めるなら、自分達(行政・議員)も議員定数減らしたり、行政の仕事を整理したりする必要があると思います。
- ・川や散歩道のポイ捨て不法投棄には心が痛みます。清掃・教育・防犯カメラ設置等、将来に向けて美しい環境作りをしてほしい。又動物の虐待防止にも力を入れてください。
- ・行政の縦割り業務の弊害を減らして、人材や資金(税金)の差配を効果的に行ってほしいと思っています。
- ・市役所を土日も終日あけてほしい。

(少子高齢化・人口減少対策)

- ・福岡県だけではない問題かもしれないが、人口減少が最重要問題だと思うので、福岡から、たくさん子どもが笑って暮らせるように、親も楽しく子育てできるそんな福岡県の姿を期待したい。結婚・子どもを産む＝「苦しい」という若者の考えをなくせる県であってほしい。
- ・高齢化が進み子どもが減少。私が年金で生活するのは難しく、働けなくなった年金生活の人の低所得者の医療費の無料化を行って欲しい。
- ・少子化対策全般に力を入れてほしい。子どもの多い福岡県になってほしいです。
- ・子どもを、安心して産める環境作りが大切です！真剣に考えていないと年金も崩壊します！まずは、人口減少を早急に止める様な対応を、お願いします。

(人材育成)

- ・小、中、高校の教職員の育成。子どもが伸び伸びと育つよう。
- ・あらゆる人材育成の強化。(人が一番大事)
- ・お金での支援も大事ですが、将来の人材育成などに力を入れてほしい。
- ・皆が住みやすい環境、人の為に動ける人の育成。
- ・高齢化社会となった世の中では高齢者の支援を最重視した考え方がメジャーになっていますが、高齢化が進む世の中だからこそ次世代を育成できる若者の支援をしてほしいです。
- ・福岡県は自然が豊かで程よく都会的な部分もあり、とても住みやすいと思うので、若い人材を育成しこれからも活気ある地域にしていけたら良いと思います。

(安全安心・思いやり)

- ・安心、快適で住みやすい環境。
- ・生まれてから死ぬまで、安心して幸せに生きていける社会。
- ・子ども達が安心してくらす町。PTA会長など経験者が持続的に集まって、市の中核的な役割を担って頂く。(ボランティア)
- ・子どもから高齢者、最期まで安心して過ごせるようにしてほしい。
- ・一生を通して、安心した人生を送れる社会。教育、医療、住居、職など。
- ・これからも魅力ある福岡として子どもからお年寄り、日本だけでなく世界の人から住みたいまちとして心豊かに安心、安全に暮らせる街にしてもらいたいです。

(社会的・経済的弱者への支援)

- ・低所得者に対する支援に力をもっと入れてほしいです。
- ・低所得者や障がい者への給付金や家賃補助や減額。
- ・一人親、低所得者の管理をきびしくしてほしい。この人達に甘すぎる。
- ・社会的弱者への支援に力を入れると共に、それを支えている人達への支援を充実させて欲しい。
- ・収入の少ない生活弱者に対する手厚い対策をお願いします。
- ・コロナにより、物価が上がるも給料は上がらない。保護世帯や低所得者ばかりの経済的支援が目立つ。みな平等に経済的支援を望む。

(経済発展・経済成長)

- ・アジアの中心で輝き発展する福岡。
- ・豊かな自然環境を残しつつ、経済や産業の発展で人々が経済的にも精神的にも豊かで充実した生活を安心して送ることができている。
- ・アジア経済の中心として発展してほしい。
- ・大型商業施設などの誘致を増やし、全国でもトップクラスの安定した経済力を維持する事で、東京よりも俄然住みやすく且つ、全国的に見ても大都市と言えるような県にして欲しい。

(税・社会保障)

- ・節税、地方税の値下げ、消費税等の税金2重取りとりやめ。
- ・個人所有の土地の相続税などが今後、子ども世代に大きな負担になり、不安になっています。子どもが少なくなっているのに、多くの土地がどう相続されていくのか、何年後かの相続税はこわいです。
- ・低所得者だけの支援ではなく税金を納めている就労者に対しても働いている者としてのメリットとなる事を考えてもらいたいです。
- ・子育て世帯の減税。国民健康保険料の低減。

(いじめ・虐待・差別をなくす)

- ・乳幼児、小学生など小さい子ども達が家庭内外で安心・安全に暮らせる社会であってほしい！篠栗町であった事件の様な事が二度とあってはならない。乳幼児、児童らにお金をもっと使ってもらいたい。
- ・イジメは学校だけじゃない。職場でもたくさんある。これをなくしないと先が見えない。
- ・今の福岡好きです。未来はもっと好きになりたい。差別等がない福岡であってほしい。
- ・児童虐待防止を高めて欲しい。子どもが亡くなるニュースがほとんどで、胸が痛いです。子どもさん達が安心して暮らしていける子育て支援など、子どもの支援に力を入れて欲しい。

(その他)

- ・人が多すぎると住みにくいし少ないと活気がない。今がちょうどいい住みやすさなので、これからも魅力的な福岡でいて欲しい。
- ・魅力ある福岡県であってほしい。あまり大都会になってほしくない。
- ・全国で住みたい町(県)の第一位になりたい。
- ・先祖代々、福岡育ちですが、将来的にもっともっと住みやすい、楽しい福岡県にしてほしい。
- ・福岡県民だけでなく、観光客、外国人等様々な人が笑顔で“ここに住みたい”と思えるような福岡県。
- ・日本の中心、アジアの中心としてここ福岡県が情報の発信源として有り続けてほしいと願っています。県民皆が我が街福岡を誇りに思って生活するだけでステキな福岡県になると思います。
- ・全県民をもっと平等に考えてほしい。
- ・どこよりも魅力的な、東京よりも強くてカッコいい都市になってほしい。福岡が大好きです。

IV. 資料編

<調査票>

福岡県民ニーズ調査

～記入上の注意点～

1. 必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。ただし、ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意見などを代理の方が記入されてもかまいません。
2. 各質問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をお付けください。質問文に「1つだけ」、「2つ」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
3. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
4. 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）の中に具体的に記入してください。

調査票の回収について

次のいずれかの方法で、7月22日（金）までにご提出ください。

↓

郵送回答

ご記入後、調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函してください。

→

インターネット回答

次のURL又はQRコードから回答画面へアクセスし、回答してください。

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/xSGvC70u>

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です



- この調査は無記名で行い、ご回答の内容については、「こういう意見の方が全体の何%」というように、すべて統計数値として集計いたしますので、お答えいただきました方のお名前や個人の回答内容が公表されることは一切ございません。
- これまでに実施した同調査（福岡県民ニーズ調査）の結果は、福岡県のホームページでご覧いただけます。
*インターネット検索で「福岡県民ニーズ調査」とご検索ください。

【お問い合わせ先】

調査主体：福岡県企画・地域振興部総合政策課重点政策班 担当：富川
住所：福岡市博多区東公園7番7号
TEL：092-643-3158 FAX：092-643-3160

調査実施機関：株式会社 サーベイリサーチセンター九州事務所 担当：田志
住所：福岡市博多区博多駅東2丁目6番26号
TEL：092-411-8811 FAX：092-411-8851

1 新型コロナウイルス感染症の影響について

問1 新型コロナウイルス感染症の発生前と現在を比較して、暮らしの面でどのような変化を生じましたか。また、悩みやストレスについて、どちらに相談していますか。

(1)～(3)からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

(1) 本人または家族への影響

1. 本人や家族の収入が減少した
2. お金や仕事のことでの悩みやストレスが増加した
3. 子どものストレスや学習面での不安が増加した
4. 健康への悩みやストレスが増加した
5. 家事・育児に関する夫婦の役割分担が改善した
6. 家庭内でのトラブル、悩みやストレスが増加した
7. 家族のコミュニケーションが取れるようになった
8. 将来に対する不安が増加した
9. 人間関係のことでの悩みやストレスが増加した
10. 悩みやストレスは減少した
11. その他 ()

(2) 悩みやストレスの相談先

1. 家族や友人に相談している
2. 公共や民間の相談窓口を利用している
3. 病院や診療所の医師に相談している
4. ラインやツイッターなどのソーシャルメディアで相談している
5. 相談する相手がいない
6. その他 ()

(3) 余暇、趣味など日々の暮らしへの影響

1. 親しい人との会話や付き合いが減少した
2. 煩わしい人づきあいが減少した
3. お店に行って買い物をするのではなく、ネット通販や宅配など、新たな手法を利用するようになった
4. 外での飲食の機会が減少した
5. 旅行やレジャーの機会が減少した
6. 体験型エンターテインメント（ライブ、映画鑑賞など）の機会が減少した
7. イベントや集会への参加の機会が減少した
8. 運動やスポーツの機会が増加した
9. 趣味や学習などに時間が取れるようになった
10. その他 ()

問2 新型コロナウイルス感染症の発生前と現在を比較して、仕事の面でどのような変化を生じましたか。次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

(1) 仕事への影響

1. 仕事が増えた
2. 仕事が減った
3. 職を失った、又は仕事をやめた
4. 転職した
5. 影響はない
6. 仕事をしていない
7. その他 ()

(2) 働き方への影響

1. 副業を始めた
2. テレワークによる場所にとらわれない働き方を行う機会が増えた
3. Web会議システム、デジタル化等、仕事の進め方が変わった
4. 仕事の効率性・生産性が向上・上昇した
5. 仕事よりプライベートを重視するようになった
6. その他 ()

※ テレワーク

ICT（情報通信技術）を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のことで、自宅で働く「在宅勤務」、移動中や出先で働く「モバイル勤務」、本拠地のオフィス以外の施設で働く「サテライトオフィス勤務」の総称。

(保健・医療)

問 13 健康で長生きすることができる社会づくりのために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 自主的な健康づくりの支援
2. 生活習慣病対策
3. がん対策
4. むし歯、歯周病対策
5. こころの健康、ひきこもり、自殺防止対策
6. 難病患者への支援
7. 感染症対策
8. 救急医療体制の確保
9. へき地医療対策
10. 医療・看護を担う人材の育成・確保
11. その他 ()

(スポーツ)

問 14 スポーツを推進し、さらにスポーツの力で県と県民生活をより豊かにするために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保
2. 学校におけるスポーツ活動（体育や運動部活動）の充実
3. トップアスリートの育成、指導者の育成・資質の向上
4. スポーツ施設の充実
5. スポーツにおける健全性の向上（体罰、暴力、ハラスメント等の防止）
6. 大規模スポーツ大会やスポーツの強化合宿等の誘致
7. スポーツ産業の振興を通じた地域経済の活性化
8. その他 ()

(地域振興)

問 21 2040 年の本県の人口について、表 1 のとおり、全ての地域で人口減少が見込まれています。あなたのお住まいの地域では、行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から 2 つまで 選び、○で囲んでください。

表 1 : 県内各地域における人口の見通し

(単位:千人)

		2020年	2040年	人口比 (2040年 /2020年)
福岡県計		5,135.2	4,704.8	91.6%
地 域	北九州	1,254.1	1,051.1	83.8%
	福岡	2,689.7	2,686.1	99.9%
	筑後	794.0	663.3	83.5%
	筑豊	397.4	304.3	76.6%

資料:2020年:総務省「国勢調査」

2040年:国立社会保障・人口問題研究所推計(2018年)

1. 地域の雇用の創出につながる企業の誘致
2. 通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備
3. 農林水産業の振興
4. 教育水準の向上
5. 医療提供体制の確保
6. 移住施策の推進
7. 外国人が暮らしやすい環境づくり
8. 商工業、農林水産業などの産業の発展を担う人材の育成
9. 自治会、町内会などの地域コミュニティの維持・活性化を担う人材の育成
10. 特に力を入れなくて良い
11. その他 ()

【参考設問】

Q1： 県では、性別によって差別されることなく、人権が尊重され、社会のあらゆる分野で能力を発揮できるよう取組をすすめています。

このことについて、以下の2つのことをお尋ねしますので、「思う」「思わない」のいずれかを○で囲んでください。

- (1) 日々の暮らしの中で、性別による差別を感じることもある
(1. 思う 2. 思わない)
- (2) 仕事の中で、性別による差別を感じることもある (1. 思う 2. 思わない)
※(2)は仕事をされている方のみ回答

Q2： NPOの活動やボランティア活動（以下、社会活動という）について、以下の2つのことをお尋ねしますので、あてはまる選択肢を○で囲んでください。

- (1) 社会活動の経験はありますか (1. ある 2. ない)
- (2) あなたは、今後、社会活動に参加してみたいですか (1. はい 2. いいえ)
- (3) 【(2)で「はい」と回答した方】どのような社会活動に参加してみたいですか
(1. 被災地支援、2. 地域交流、3. 子育て、4. 環境、5. 国際交流
6. スポーツ、7. 文化、8. 教育、9. その他 ())
※あてはまるものすべてご回答ください。

Q3： 今お住まいのあなたの地域で実感することについて、次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

1. 若い世代が少ない
2. 買い物がしづらい（店舗数の減少）
3. 空き家が多い
4. 働く場が少ない
5. 病院が少ない
6. 公共交通機関（バス、鉄道など）が少ない
7. 道路が整備されていない
8. 地域の担い手（町おこし、消防団など）が少ない
9. その他 ()

Q4： あなたは、SDGs（エスディーゼーズ）という言葉聞いたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、○で囲んでください。

1. 良く知っている
2. 少し知っている
3. 聞いたことがあるが、内容は知らない
4. 聞いたことはない



※SDGs（Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に取り組む、2030年までの達成を目指す国際目標のこと。

Q5： あなたは、この1年間に、ホール、劇場、美術館などで、料金を支払い、文化芸術を鑑賞したり、体験したりしたことはありますか。次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

1. 音楽
2. 美術
3. 演劇、舞踏
4. 伝統芸能・民族芸能（能楽、歌舞伎、神楽など）
5. 生活文化（茶道、華道、書道）
6. メディア芸術（映画、漫画、アニメ、デジタルアートなど）
7. 文化財等（歴史的建物、史跡など）
8. 鑑賞、体験したものはない
9. 分からない
10. その他（ ）

【基本項目】

ご意見をお尋ねするのは、以上で終わりですが、お答えいただいたご意見を統計的に分析するため、あなたご自身のことやご家族のことについて、差し支えない範囲でお聞かせください。

F 1. あなたの性別を以下の欄にご記入ください

(記入欄)

F 2. あなたの年齢（記入日現在）はおいくつですか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 5. 50～59歳 |
| 2. 20～29歳 | 6. 60～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 7. 70歳以上 |
| 4. 40～49歳 | |

F 3. あなたの職業はどれにあたりますか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 農林水産業（家族従業者を含む） | 5. 家事専業 |
| 2. 自営業・自由業（家族従業者を含む） | 6. 学生 |
| 3. 企業、役所、団体などの正規職員 | 7. 無職（定年退職者を含む） |
| 4. パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など | 8. その他（) |

F 4. あなたはお子さんがいらっしゃいますか。同居、別居は問いません。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 4-2. お子さんがいらっしゃる方（「F 4.」で「1」を選択した方）のみにお尋ねします。小学校入学前（乳幼児を含む）のお子さんがいらっしゃいますか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 5. 現在お住いの市町村名についてお尋ねします。1つだけ選び、○で囲んでください。

(○は1つだけ)

北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
1. 北九州市	14. 福岡市	34. 直方市	49. 大牟田市
2. 行橋市	15. 筑紫野市	35. 飯塚市	50. 久留米市
3. 豊前市	16. 春日市	36. 田川市	51. 柳川市
4. 中間市	17. 大野城市	37. 嘉麻市	52. 八女市
5. 遠賀郡芦屋町	18. 宗像市	38. 宮若市	53. 筑後市
6. 遠賀郡水巻町	19. 太宰府市	39. 鞍手郡小竹町	54. 大川市
7. 遠賀郡岡垣町	20. 古賀市	40. 鞍手郡鞍手町	55. 小郡市
8. 遠賀郡遠賀町	21. 福津市	41. 嘉穂郡桂川町	56. うきは市
9. 京都郡苅田町	22. 朝倉市	42. 田川郡香春町	57. みやま市
10. 京都郡みやこ町	23. 糸島市	43. 田川郡添田町	58. 三井郡大刀洗町
11. 築上郡吉富町	24. 那珂川市	44. 田川郡糸田町	59. 三潴郡大木町
12. 築上郡上毛町	25. 糟屋郡宇美町	45. 田川郡川崎町	60. 八女郡広川町
13. 築上郡築上町	26. 糟屋郡篠栗町	46. 田川郡大任町	
	27. 糟屋郡志免町	47. 田川郡赤村	
	28. 糟屋郡須恵町	48. 田川郡福智町	
	29. 糟屋郡新宮町		
	30. 糟屋郡久山町		
	31. 糟屋郡粕屋町		
	32. 朝倉郡筑前町		
	33. 朝倉郡東峰村		

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

*ご記入後、アンケート調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、7月22日（金）までに郵便ポストに投函してください。